

とまこまい
議 会 年 報

令和 5 年度版



苫小牧市議会事務局

目 次

1 議 会 構 成	
(1) 任期及び議員数	1
(2) 党派別・会派別議員数	1
(3) 年齢別・当選回数別議員数	1
2 委 員 会	
(1) 常任委員会	2
(2) 議会運営委員会	2
(3) 特別委員会	2
3 議会予算及び議員報酬等	
(1) 議会予算	3
(2) 議員報酬等	4
4 議 会 運 営	
(1) 議会運営委員会	5
(2) 議会運営に関する申合せ事項	7
5 議 会 活 動	
(1) 本会議開催状況	13
(2) 委員会等開催状況	13
(3) 付議事件議決状況	14
(4) 委員会付託状況	14
(5) 常任委員会	15
(6) 議会運営委員会	17
(7) 特別委員会	19
(8) 議会改革検討会	22
(9) 会議日程表	
○第1回臨時会 (R 5. 5. 15～ 5. 17)	23
○第2回定例会 (R 5. 6. 22～ 6. 30)	23
○第3回定例会 (R 5. 9. 7～ 9. 15)	24
○第4回定例会 (R 5. 12. 7～12. 15)	25
○第5回定例会 (R 6. 2. 22～ 3. 15)	26
(10) 議決結果表	
○第1回臨時会	28
○第2回定例会	28
○第3回定例会	30
○第4回定例会	31
○第5回定例会	33
(11) 代表・一般質問内容	
○第2回定例会	36
○第3回定例会	40
○第4回定例会	44
○第5回定例会	48
(12) 陳情処理状況	55
(13) 意見書提出状況	56
(14) 決議提出状況	71
6 そ の 他 資 料	
(1) 行政視察来訪状況	75
(2) 議会関係諸室平面図	76
7 事 務 局	
(1) 機構	77
(2) 事務分掌	77
(3) 議会中継等	77
(4) 図書室	78

1 議 会 構 成

(1) 任期及び議員数

ア 任 期

令和5年5月1日～令和9年4月30日

イ 議 員 数

(R6.3.31現在)

条 例 定 数	現 員 数
28	28

条例改正 H24. 12. 20

適 用 H27. 4. 19

(2) 党派別・会派別議員数

(R6.3.31現在)

党 派 会 派	自 由 民主党	立 憲 民主党	公明党	日 本 共産党	国 民 民主党	N H K か ら 国 民 を 守 る 党	無所属	計
新 緑	2						5	7
公 明 党 議 員 団			5					5
民 主 ク ラ ブ		5						5
改 革 フ ォ ー ラ ム					1		3	4
日 本 共 産 党 市 議 団				4				4
会 派 市 民	1						1	2
無 所 属						1		1
計	3	5	5	4	1	1	9	28

(3) 年齢別・当選回数別議員数

(R6.3.31現在)

当選回数(回) 年 齢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
25～29歳											0
30～39歳	1										1
40～49歳	2	1	1	1	1						6
50～59歳		3	3	1		1					8
60～69歳	1	1	2	1	2	1	1				9
70～79歳				1		1	1			1	4
計	4	5	6	4	3	3	2	0	0	1	28

(最年少31歳、最年長71歳、平均年齢 56.6歳)

2 委 員 会

(1) 常任委員会

(R6.3.31現在)

名 称	定 数	所 管
総 務	7	総合政策部 総務部 財政部 会計課 消防本部 選挙管理委員会 公平委員会 監査委員
厚 生	7	市民生活部 環境衛生部 福祉部 健康こども部 市立病院
文 教 経 済	7	産業経済部 教育委員会 農業委員会
建 設	7	都市建設部 上下水道部

(2) 議会運営委員会

(R6.3.31現在)

定 数	8	選出方法	各交渉会派の議員数に比例配分
-----	---	------	----------------

(3) 特別委員会

(R6.3.31現在)

名 称	定 数	所 管 事 項
総合開発	13	(1) 工業開発の促進及び苫小牧港整備促進について (2) 企業及びリサイクル産業施設等の立地促進並びにこれに伴う公害の防止について (3) 東部開発に伴う財政特別措置について (4) 空港周辺対策について (5) 広域行政について (6) ゼロカーボンについて (7) 統合型リゾート（IR）について (8) 自衛隊の訓練（災害訓練を除く。）等の国防に関する事項について (9) 都市再生コンセプトプランについて（個別の事業を除く。）
安全・安心及び市民文化ホールに関する	13	(1) 防災に関する事項について (2) 危機管理に関する事項について (3) 市民文化ホールに関する事項について (4) その他市民の安全・安心に関する事項について

名 称	構 成	備 考
予算審査	正・副議長を除く全議員	各々、一般会計と特別・企業会計に分ける
決算審査	正・副議長、監査委員を除く全議員	

3 議会予算及び議員報酬等

(1) 議会予算 (令和5年度当初)

議会費 309,632千円 (対前年度比 99.40%)
(うち 主要事業費 20,049千円)

(単位：千円)

節	金額	節	金額
1 報酬	149,280	11 役員費	2,874
3 職員手当等	62,168	12 委託料	5,793
4 共済費	46,934	13 使用料及び賃借料	17,463
7 報償費	60	18 負担金補助金及び交付金	9,421
8 旅費	12,000		
9 交際費	620		
10 需用費	3,019	※ 事務局職員費は別款計上	

(単位：千円)

説	明
● 議会運営に要する経費	309,632
・ 議員報酬・手当及び共済費	258,382
・ 旅費	12,000
・ 交際費	620
・ 食糧費	389
・ 政務活動費交付金	8,400
・ 全国議長会等負担金	1,021
・ その他議会運営費	8,771
・ 議会運営システム事業費 (主要事業費)	14,413
・ 市議会ICT化事業費 (主要事業費)	5,636

(2) 議 員 報 酬 等

1) 報 酬 等 (月 額)

(単位：千円)

職 名	特別職						
	議 長	副議長	議 員	市 長	副市長	教 育 長	監査委員
現 行 (H 5. 12)	520	480	440	980	800	680	常勤 635 議員 39
改 訂 前 (S63. 12)	460	425	390	880	710	590	常勤 560 議員 35

2) 期 末 手 当 (令和5年12月1日施行)

支給時期	6 月	1 2 月	年 間	職務加算割合
支給割合	220/100	230/100	450/100	15 %

3) 旅 費 (平成18年4月1日適用)

ア) 費用弁償 (会議出席)

交通費 片道 6 km以上の場合にバス賃実費支給

(本会議等に参加した際の日額 2 千円の支給は、平成18年度から廃止)

イ) 行政視察 (特別委員会、議会運営委員会は隔年で実施)

常任委員会視察 1 人年額 1 3 5 千円

特別委員会視察 1 人年額 1 3 5 千円

議会運営委員会視察 1 人年額 1 3 5 千円

ウ) 海外視察 (平成18年度から一時凍結)

4) 政 務 活 動 費 (平成13年4月1日適用)

ア) 交付額 1 人あたり月額 2 5 千円を各会派毎に交付

イ) 交付の方法 毎年 4 月末日に年額を一括交付

4 議 会 運 営

(1) 議会運営委員会

議会運営委員会内規（平成3年6月21日 本会議「その他の議事」で決定）

(目 的)

- 1 議会の円満、かつ、積極的な運営に資するため、議会運営委員会の運営については、この内規の定めるところによる。

(所 管 事 項)

- 2 地方自治法第109条第3項に規定する所管事項を例示すると、おおむね次のとおりである。

(1) 次に掲げる事項に関する調査

ア 議会の運営に関する事項

- (ア) 会期に関すること。
- (イ) 議事日程に関すること。
- (ウ) 決議案、意見書案等の取扱いに関すること。
- (エ) 請願及び陳情の取扱いに関すること。
- (オ) 一般質問に関すること。

イ 議会の会議規則、委員会条例等に関する事項

- (ア) 会議規則に関すること。
- (イ) 委員会条例、議員定数を減少する条例、事務局設置条例等議会関係の条例に関すること。
- (ウ) 議会運営に関する申合せ事項に関すること。

ウ 議長の諮問に関する事項

- (ア) 会議における議事進行に関すること。
- (イ) 議会費の予算及び決算に関すること。
- (ウ) 全員協議会開催に関すること。
- (エ) その他議会運営上必要と認めた事項に関すること。

(2) 前号に掲げる事項に関する議案、請願・陳情等の審査

(委員の選出)

- 3 委員は、原則として各交渉会派の議員数の比率により選出する。

(採 決)

- 4 採決は、極力避けるものとし、満場一致とならない場合は、多数の意見を尊重するものとする。

(会議の招集時期)

- 5 会議の招集時期は、次のとおりとする。

- (1) 次期定例会の会期等を審議する閉会中の会議の招集は、原則として定例会等の招集日前4日以内とする。
- (2) 開会中は、必要の都度招集する。

(委員外議員の出席等)

6 議長、副議長及び委員外議員の出席、発言等については、次のとおりとする。

- (1) 議長及び副議長は、会議に出席し、説明又は意見を述べることはできるが、採決には加われない。
- (2) 委員が会議に欠席する場合は、委員外議員として同一交渉会派の議員の出席を求め、説明又は意見を聞くこととする。

ただし、委員外議員は採決には加われない。

- (3) 交渉会派に所属しない議員（１人）がいる場合は、当該議員の出席を求めるが、発言は原則として認めず、採決に加われない。

更に、当該議員は会議において決定した事項については、これに従うものとする。

(理 事 会)

7 議会運営委員会を効率的に運営するため理事会を設置するものとし、理事会の構成等については次のとおりとする。

- (1) 理事会は、各交渉会派から委員１人をもって構成し、議会運営委員会から付議された次の事項について協議する。

ア 会議における議事進行に関すること。

イ 決議案、意見書案等の取扱いに関すること。

ウ 議会費の予算及び決算に関すること。

エ その他必要と認めた事項に関すること。

- (2) 前号の理事の選任は、委員長の名指による。ただし、議会の開会中に限り、議長が指名することができる。

- (3) 理事会は、必要の都度委員長が招集する。

- (4) 理事会は、非公開とする。

- (5) 委員外議員については、前項の例による。

附 則

この内規は、平成３年６月２１日から施行する。

この内規は、平成２５年４月１日から施行する。

この内規は、令和元年９月１３日から施行する。

この内規は、令和３年１２月１０日から施行する。

(2) 議会運営に関する申合せ事項

(交渉会派に関すること)

1 交渉会派について

- (1) 交渉会派は、2人以上とする。
- (2) 交渉会派に所属しない議員（1人）の呼称は無所属とする。

なお、交渉会派に所属しない議員（1人）は、議会運営委員会及び代表者会議に出席するが、発言は原則として認めず、採決に加われない。

さらに、会議において決定した事項については、これに従うものとする。

(本会議運営等に関すること)

2 時間延長について

- (1) 休憩中の手続きは、各交渉会派等の了解を得て行い、本会議での決定は省略する。
- (2) 散会時刻は、おおむね午後8時とする。

3 代表質問及び一般質問について

- (1) 2月定例会及び市長選挙後最初の定例会は代表質問を、他の定例会は一般質問を行うものとする。
- (2) 質問を行う時期は、議案審議の前（会期の初め）とする。
- (3) 日程は4日以内で終了することとする。
- (4) 内容は項目別に具体的にし、議案等に関係する事項については、質問の対象としないこと。ただし、請願・陳情については、この限りでない。
- (5) 質問の通告
 - ア 質問の通告期限は、議会運営委員会開催日前々日の正午までとする。
 - イ 質問の要旨は、所定の用紙に項目別に具体的に記入し、次の期限までに議長に提出すること。
 - (ア) 代表質問は、質問初日の3日前の正午までに提出すること。
 - (イ) 一般質問は、質問方式を記入し、質問の通告期限までに提出すること。

※代表質問を行う定例会の日程例

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
質問 通告		議会 運営 委員会		本会 議（ 市政 方針）	議案 検討 日・ 休会	議案 検討 日・ 休会	質問 要旨 提出 ・休会	議案 検討 日・ 休会	議案 検討 日・ 休会	本会 議（ 代表 質問）

ウ ファックス及び電子メール（所定の用紙を添付）による質問の通告を認めるものとし、送信票もしくは電子メール本文に連絡先等を明記して、原則として質問の通告期限の1時間前までに送信し、送信後は必ず受信を確認すること。

エ 通告期限が土曜日にあたるときはその前日、日曜日にあたるときはその翌日とし、祝日等にあたるときは議長が定める。

オ 質問の内容は、議会運営委員会で検討し、具体性を欠いているときは、受理できない場合もある。

- (6) 代表質問は、各交渉会派から1人とし、一般質問の人数は制限しない。

(7) 質問時間

ア 一般質問に係る質問時間は、各交渉会派等の持ち時間制とし、持ち時間は議員 1 人 20 分に各交渉会派等に所属する議員数を乗じて得た時間とする。

※交渉会派等一般質問時間 (令和 5 年 5 月 17 日)

交渉会派名	人 数 (人)	質問時間 (分)
新 緑	7	140
公 明 党 議 員 団	5	100
民 主 ク ラ ブ	5	100
改 革 フ ォ ー ラ ム	4	80
日 本 共 産 党 市 議 団	4	80
会 派 市 民	2	40
無 所 属	1	20
計	28	560

イ 代表質問者の質問時間は 60 分以内とする。

一般質問者の質問時間は 40 分以内とする。ただし、各交渉会派等の持ち時間の範囲とする。

ウ 質問者の質問残時間の表示は、代表質問は 60 分、一般質問は 40 分から表示し、各交渉会派等の持ち時間が 40 分に満たない場合はその時間から表示する。

(8) 代表質問の質問順位は、交渉会派順位に従って行う。

(9) 一般質問の質問順位は、質問通告者のうち各交渉会派で指名 (1 人) する者をもって最初に一巡するものとし、他は抽せんとする。

この場合、各交渉会派で指名する者の質問順位は、交渉会派順位に従って行うものとし、一般質問を行う定例会毎に順次輪番とする。

各交渉会派の被指名者氏名は、抽せんに先だち各交渉会派の代表から議会運営委員長に届け出るものとする。

抽せんは、議会運営委員会において、各交渉会派等の代表をもって行うものとする。

(10) 動議

ア 動議は、質問者又は当該答弁者の発言が終了した時に発議し、現に質問者及び答弁者が発言している最中には発議することができない。

イ 質問における質問者の当該質問又は当該質問の答弁に対する動議の発議は、その質問者の質問終了までに行うこととし、次の質問者の質問に入った後には発議することができない。

ウ 当該動議に対する動議の発議を行うことができない。

エ アからウの事項は、質疑又は委員会においても同様とする。

(11) 議事進行発言

ア 議事進行発言は、2 回にわたって議長に求めることができない。

イ 質問者及び質問者以外の議員は、質問者の質問終了までに、議事進行発言を行うことができる。ただし、ウの質問終了後において、質問者以外の議員が答弁もれや質問に関連し新たな答弁を求める議事進行発言を行うことはできない。

ウ 質問者に対し答弁もれがある場合は、次の質問で補足していくこととし、質問終了後においてなお答弁もれがある場合は、質問者の議事進行発言により答弁を求めること。

エ アからウの事項は、質疑又は委員会においても同様とする。

4 緊急質問について

- (1) 質問の許可は、議会運営委員会で決定するため、質問の内容については議会運営委員会において詳細な説明を行い、緊急性の有無を的確に判断し得るようにすること。

(議案及び請願・陳情に関すること)

5 議案の取扱いについて

- (1) 条例案等の取扱いは、議会運営委員会で協議し、必要に応じて所管の委員会に付託して審査する。
- (2) 議案等審議の際の意見調整は、議会運営委員会において行うものとする。
- (3) 公共料金の設定・改正並びに重要案件は、十分審議できる期間をもって提出させること。
- (4) 人事案件は、本会議から一たん全員協議会に持ち越しするが、直ちに代表者会議に諮り、結論を得た後に全員協議会を開催し、決定する。ただし、全員協議会は省略することができる。

6 予算案及び決算認定案の取扱いについて

(1) 予算審査

ア 通常予算については、正・副議長を除く、全議員をもって審査する。

イ 通常予算並びに関連議案を一般会計と企業会計（特別会計を含む）に分け、次の特別委員会を設置する。

一般会計予算審査特別委員会 …………… 議会大会議室

企業会計予算審査特別委員会 …………… 市大会議室

ウ 質疑時間は、答弁時間を含めて70分以内とする。

エ 代表質問を行う定例会に限り、委員会での質疑は、基本計画及び市政方針の範囲であれば、一般会計は款の中で、企業会計（特別会計を含む）は総括質疑で行うことができる。

(2) 決算審査

ア 正・副議長並びに監査委員を除く、全議員をもって審査する。

イ 一般会計と企業会計（特別会計を含む）に分け、次の特別委員会を設置する。

一般会計決算審査特別委員会

企業会計決算審査特別委員会

ウ 質疑時間は、答弁時間を含めて60分以内とする。

7 請願・陳情の取扱いについて

- (1) 議会招集日の前日の午後5時までに提出されたものは、所管の委員会に付託し、会期中に審査する。

なお、その後に提出されたものは、最終日に議長手続により、閉会中継続審査とする。

- (2) 委員会付託の方法は、付託一覧表を作成し、これをもって一括付託する。

- (3) 会期中開催の委員会において、付託審査中の請願・陳情と同一趣旨のものが提出された場合は、参考として当該委員会に配布し、付託中の請願・陳情が議会に審査結果報告された場合は、一事不再議の原則により処理する。

なお、閉会中継続審査となった場合は、議会最終日に議長手続により、当該委員会に付託して、閉会中継続審査とする。

- (4) 閉会中に閉会中継続審査の請願・陳情の取下げ願いを受理した場合は、議長から所管の委員長に通知し、委員長は各委員へ取下げがあった旨の文書通知（再提出がある場合はその旨も付記する）を行うものとし、請願・陳情の取下げだけでの委員会を開催しないものとする。

- (5) 委員会の表決について、国、北海道等に対する要望に係るものは、採択又は不採択とし、趣旨採択については、本市の事業に限るものとする。
- (6) その他
 - ア 採択と決定した請願・陳情の処理経過について、理事者は定例会ごとに議会に報告すること。
なお、この報告は1年間を限度とする。
 - イ 議会に提出する請願・陳情については、文書表のみとし、本文の印刷配布は行わない。
 - ウ 郵送陳情等については、各交渉会派等に参考配布（原本の写し）するにとどめ、審査は行わないものとする。
 - エ 未成年者がウの郵送陳情等以外の陳情を提出したときは、その者の保護者その他議長が認める者の同意があるもののみ審査を行い、当該同意がないものは議長限りとする。

(意見書案及び決議案に関すること)

8 意見書案及び決議案等の取扱いについて

- (1) 関係行政庁に提出を求める要望意見書の交渉会派等からの提出は、急施を要するものを除き、次の期限までに提出すること。
 - ア 代表質問を行う定例会においては、質問の初日までに提出すること。
 - イ 一般質問を行う定例会においては、質問の2日目までに提出すること。
- (2) 取扱いは、議会運営委員会で決定する。
この場合、満場一致となるよう努力をし、ならないものは、提出者の意思による。

(常任委員会及び特別委員会に関すること)

9 委員会審査について

- (1) 会期中の審査日程は、2日以内とする。
- (2) 審査結果報告は簡略にし、朗読は要点にとどめる。
- (3) 委員会は、その所管事項の調査も積極的にを行い、委員会の活動を充実、強化していくこと。
この場合、調査事項の具体的内容を定例会の委員会で決定し、議会の承認を得ること。
- (4) 委員会は、原則として公開とする。
- (5) 質疑時間
 - ア 常任委員会の質疑時間に制限は設けない。
 - イ 予算審査及び決算審査特別委員会を除く特別委員会の質疑時間は、答弁時間を含めて40分以内とする。

10 委員会における調査・出張の承認について

- (1) 調査費予算（委員会旅費等）の範囲内において、議長の承認により、行うものとする。（管内・管外日帰り程度）
- (2) 議長の承認手続きを経ないものは、公務災害の対象とならない。

11 特別委員会の正・副委員長選出順位について

- (1) 各交渉会派の持ち回りとし、その順位は次のとおりとする。
ただし、正・副委員長が1交渉会派に重複するときは、次の交渉会派と調整を図る。
 - ア 委員長は別表2、副委員長は別表3のとおりとする。
 - イ 臨時に設置される特別委員会の委員長は、交渉会派順とし、各交渉会派持ち回りとする。

ウ 副委員長は、交渉会派順位の逆順とし、各交渉会派持ち回りとする。

1 1－2 特別委員会理事会について

- (1) 特別委員会を効率的に運営するため、必要に応じ理事会を設置する。
- (2) 理事の選任は、当該委員会の委員長の名による。ただし、議会の開会中に限り、議長が指名することができる。
- (3) 理事会は、当該委員会から付議された事項について協議する。
- (4) 理事会は、委員長があらかじめ、日時、場所、その他開催に必要な事項を定め、必要の都度招集する。
- (5) 理事会の運営については委員長が決定する。

(議員協議会に関する事)

1 2 議員協議会について

削除

(代表者会議に関する事)

1 3 代表者会議について

- (1) 付議する事件は、おおむね次のとおりとする。
 - ア 議会人事に関する事。
 - イ 市長提案に係る人事に関する事。
 - ウ 理事者及び議員の給与等に関する事。
 - エ 議員の海外派遣に関する事。
 - オ その他

(委員長連絡会議に関する事)

1 4 委員長連絡会議について

- (1) 各委員会の連絡、調整を図るものとする。

(会議録に関する事)

1 5 会議録の調製及び配布について

- (1) 本会議及び委員会は、録音機器により記録する。
- (2) 全員協議会は、録音機器により録音する。ただし、非公開の場合は、決定事項の記録とする。
- (3) 会議録の配布は、次のとおりとする。
 - ア 本会議、予算及び決算審査特別委員会の会議録は、印刷して各交渉会派等に配布する。
 - イ 他の会議録は、事務局において保管する。

(その他)

1 6 報道機関の入室許可について

- (1) 写真撮影のための入室許可については、本会議の場合は議長、委員会の場合は委員長の権限による。

※特別委員会委員長選出順位表 別表2

(令和5年5月17日)

特別委員会	交 渉 会 派 名	
	一 般 会 計	企 業 会 計
令和4年度決算審査	新 緑	公明党議員団
令和6年度予算審査	公明党議員団	新 緑
令和5年度決算審査	民主クラブ	改革フォーラム
令和7年度予算審査	改革フォーラム	民主クラブ
令和6年度決算審査	日本共産党市議団	新 緑
令和8年度予算審査	新 緑	日本共産党市議団
令和7年度決算審査	会 派 市 民	民主クラブ
令和9年度予算審査	新 緑	公明党議員団

※特別委員会副委員長選出順位表 別表3

(令和5年5月17日)

特別委員会	交 渉 会 派 名	
	一 般 会 計	企 業 会 計
令和4年度決算審査	民主クラブ	改革フォーラム
令和6年度予算審査	新 緑	会 派 市 民
令和5年度決算審査	公明党議員団	新 緑
令和7年度予算審査	公明党議員団	新 緑
令和6年度決算審査	新 緑	公明党議員団
令和8年度予算審査	改革フォーラム	民主クラブ
令和7年度決算審査	日本共産党市議団	新 緑
令和9年度予算審査	民主クラブ	日本共産党市議団

5 議 会 活 動

(1) 本会議開催状況

開催状況 会議別	会 期 日数	本 会 議		代表・一般質問		傍聴者数 (人)	各委員会 (日)	休 会 (日)
		日数	時間数 (時間：分)	日 数	人 数			
第1回臨時会	5. 5. 15～ 5. 17	3	3	03:44	0	0	0	0
第2回定例会	5. 6. 22～ 6. 30	9	5	25:44	4	23	71	2
第3回定例会	5. 9. 7～ 9. 15	9	5	25:17	4	22	73	2
第4回定例会	5. 12. 7～12. 15	9	5	24:54	4	24	80	2
第5回定例会	6. 2. 22～ 3. 15	23	6	17:51	3	6	85	10
計		53	24	97:30	15	75	309	14

※本会議の日数は、代表・一般質問の日数を含む

※本会議と各委員会の日数は、同日開催の場合重複

※各委員会は、常任・特別・予算委員会の日数とする

(2) 委員会等開催状況

開催状況 委員会名		会 議			現地視察 (管内) (回)	現地視察 (管外) (回)
		日 数 会期中	時間数 (時間：分)	傍聴者数 (人)		
常任委員会	総 務	4	4	06:29	2	0
	厚 生	4	4	10:03	13	0
	文 教 経 済	4	4	06:12	3	0
	建 設	4	4	03:46	0	0
	計	16	16	26:30	18	0
議 会 運 営 委 員 会		16	12	03:28	2	0
特 別 委 員 会	総 合 開 発	4	4	07:05	0	0
	安全・安心及び市民文化ホールに関する	4	4	07:27	0	0
	令和6年度一般会計予算審査	6	6	25:10	0	0
	令和6年度企業会計予算審査	4	4	17:43	0	0
	令和4年度一般会計決算審査	3	0	19:12	1	0
	令和4年度企業会計決算審査	2	0	10:54	0	0
	計	23	18	87:31	1	0
全 員 協 議 会		2	1	00:41	0	0
議 会 改 革 検 討 会		5	4	02:27	0	0

(3) 付議事件議決状況

(単位：件)

付議事件 会議別結果		議 案					報	選	推	諮	請	陳	意	決	そ	計	行政 報告
		条 例	予 算	決 算	人 事	そ の 他	計	告	挙 薦	問	願	情	見 書	議	他		
第1回臨時会			1		1	2	4	4	3					2	5	18	
第2回定例会		6	1		2	10	19	7		1		2	6		2	37	
第3回定例会		2	7	8	2	1	20	4				1	3		2	30	1
第4回定例会		6	5			15	26	6		1		1	1	1	2	38	
第5回定例会		18	17		1	5	41	4				1	4		2	52	1
計		32	31	8	6	33	110	25	3	2		5	14	3	13	175	2
議 決 結 果	可 決	32	31			33	96						14	3		113	
	否 決							1								1	
	認 定			8			8									8	
	同 意				6		6									6	
	承 認							4							10	14	
	報 告 終 了							12								12	
	報告どおり決定							8								8	
	当 選								3							3	
	推 薦 決 定														1	1	
	可 と す る									2						2	
	撤 回																
	採 択											3				3	
	一 部 (採 択 ・ 不 採 択)																
	趣 旨 採 択																
	不 採 択											2				2	
	審 査 未 了																
	取 下 げ																
	そ の 他														2	2	
	継 続 審 査																
委 員 会 付 託		8	8	8			24					5				29	

(4) 委員会付託状況

(単位：件)

委員会名 付託内容		常 任 委 員 会					議 会 運 営 委 員 会	特 別 委 員 会					合 計
		総 務	厚 生	文 教 経 済	建 設	計		総 合 開 発	安 全 心 安	予 算 審 査	決 算 審 査	計	
議 案 請 陳 そ の 他	条 例									8		8	8
	予 算									8		8	8
	決 算										8	8	8
	請 願												
	陳 情		3	1		4	1						5
計			3	1		4	1			16	8	24	29

(5) 常任委員会

《総務委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
5. 6. 28 (水)	10:03 ～ 12:33 (02:30)	○所管事項 ・ 苫小牧市まちなか交流センター（ココトマ）の指定管理について ・ 令和4年度公共交通関連事業について ・ 全国大会（令和5年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会・テニス競技大会、第18回全国高等学校選抜アイスホッケー大会）の開催について ・ 東胆振消防指令業務共同運用について ・ 職員配置適正化方針（第2次改定版）について	
9. 13 (水)	10:01 ～ 11:12 (01:11)	○所管事項 ・ 「広報とまこまい」のリニューアルについて ・ 第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催について ・ 共同指令センター整備について	
10. 16 (月) ～10. 18 (水)	_____	○視察調査（春日井市、豊岡市）	閉会中
12. 13 (水)	10:01 ～ 11:18 (01:17)	○所管事項 ・ 市ホームページへのAIチャットボットの導入について ・ 市内バス路線再編について ・ 指定管理者制度の適正な運用について ・ 東胆振消防指令業務連携・協力実施計画書（案）について	
6. 3. 13 (水)	10:00 ～ 11:31 (01:31)	○所管事項 ・ 自動運転バス実証運行の結果報告について ・ 第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催結果について ・ 財政運営持続化計画（ローリング版）について	

《厚生委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
5. 6. 28 (水)	10:02 ～ 11:40 (01:22)	○第2回定例会 陳情第2号 ・ 特定商取引法の平成28年改正における5年後見直しに基づく抜本的改正を求める要望意見書提出に関する陳情 ○所管事項 ・ 市立病院における新型コロナウイルス感染症への対応について ・ 苫小牧市防獣資機材貸出し事業について ・ 苫小牧市犬や猫と快適に暮らすためのガイドラインについて	
9. 13 (水)	10:01 ～ 13:51 (02:42)	○第3回定例会 陳情第1号 ・ 苫小牧市の公共施設におけるおむつ交換スペースの設置に関する陳情	

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
		○所管事項 ・紹介受診重点医療機関について ・国民健康保険 保険税率及び課税限度額の改正について ・小規模保育事業所の開設事業者について ・苫小牧市ヤングケアラー支援条例について	
10.25 (水) ～10.27 (金)	_____	○視察調査（仙台市、入間市）	閉会中
12.13 (水)	10:01 ～ 14:09 (03:17)	○所管事項 ・苫小牧市立病院経営指標自己評価及び令和5年度苫小牧市立病院経営指標評価報告書について ・苫小牧市立病院経営強化プラン（案）について ・紹介受診重点医療機関について ・第3次苫小牧市健康増進計画（骨子）について ・苫小牧市国民健康保険 第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画（素案）について ・第2次苫小牧市空家等対策計画（素案）について ・苫小牧市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画（素案）について ・（株）シグマスタッフによる委託料過請求事案について ・第3期苫小牧市地域福祉計画中間見直しについて	
6. 3.13 (水)	10:00 ～ 13:56 (02:42)	○第5回定例会 陳情第1号 ・物価上昇に見合う高齢基礎年金等の引上げを求める要望意見書提出に関する陳情 ○所管事項 ・苫小牧市国民健康保険 第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画について ・第2次苫小牧市空家等対策計画について ・紹介受診重点医療機関について ・第7期苫小牧市障がい福祉計画について ・苫小牧市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画（案）について ・苫小牧市ヤングケアラー支援ガイドラインについて ・苫小牧市健康増進計画『健やか とまこまい step3』について	

《文教経済委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
5. 6.28 (水)	10:01 ～ 10:31 (00:30)	○所管事項 ・（公財）道央産業振興財団の事業について	
9.13 (水)	10:00 ～ 12:17 (02:17)	○所管事項 ・苫小牧市観光振興ビジョン推進事業の進捗状況について ・令和5年度（令和4年度対象）教育委員会点検・評価報告書について	

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
10.30 (月) ～11. 1 (水)	_____	○視察調査（村上市、富山市）	閉会中
12.13 (水)	10:01 ～ 12:05 (01:55)	○第4回定例会 陳情第1号 ・福島第一原発のALPS処理水の海洋放出を直ちに中止し、 処理水減容の抜本的対策を求めることを国に求める要望意見書提出に関する陳情 ○所管事項 ・旧苫小牧市モーラップ樽前荘の売却について ・「苫小牧型部活動地域移行」ロードマップについて ・第五次苫小牧市子どもの読書活動推進計画（案）について ・新苫小牧市史の刊行計画について	
6. 3.13 (水)	10:00 ～ 11:30 (01:30)	○所管事項 ・地域未来投資促進法に基づく市の基本計画について ・勇払地区の小・中学校の在り方の検討について ・苫小牧市立大成小学校改築基本計画（案）について ・苫小牧市いじめ防止基本方針について ・第五次苫小牧市子どもの読書活動推進計画について	

《建設委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
5. 6.28 (水)	10:00 ～ 11:09 (01:09)	○所管事項 ・苫小牧市水道事業・下水道事業 経営戦略 令和5年（2023年）3月ローリング版について ・森林環境税及び森林環境譲与税について	
9.13 (水)	10:00 ～ 10:25 (00:25)	○所管事項 ・除雪対策について	
10.18 (水) ～10.20 (金)	_____	○視察調査（春日部市、名古屋市）	閉会中
12.13 (水)	10:00 ～ 11:34 (01:34)	○所管事項 ・とまチョップ水事業について ・苫小牧市緑の基本計画の改定について	
6. 3.13 (水)	10:00 ～ 10:38 (00:38)	○所管事項 ・苫小牧市緑の基本計画の改定について ・水道料金等におけるスマートフォン決済の導入について	

（6）議会運営委員会

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
5. 5.17 (水)	13:00 ～ 16:14 (00:03)	○本日の案件と議事次第について ○付議事件の取扱いについて ○議会運営に関する申合せ事項について ○会期の短縮について	
6.19 (月)	13:00 ～ 13:22 (00:22)	○市長提出事件について ○議長提出事件について	閉会中

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
		○付議事件の取扱いについて ○会期の決定について ○一般質問の発言順位の決定について ○議員表彰の伝達について	
6.26 (月)	15:15 ～ 19:09 (00:11)	○各会派提出の要望意見書について ○本日の議事日程について	
6.30 (金)	13:00 ～ 14:16 (00:15)	○第2回定例会 陳情第1号 ・次期苫小牧市長選挙と苫小牧市議会議員選挙を同一日とすることを求める陳情 ○本日の案件と議事次第について	
9. 4 (月)	13:00 ～ 13:27 (00:27)	○市長提出事件について ○議長提出事件について ○付議事件の取扱いについて ○会期の決定について ○一般質問の発言順位の決定について ○第6回苫小牧市議会議場コンサートについて	閉会中
9.11 (月)	12:37 ～ 17:38 (00:09)	○動議の取扱いについて ○各会派提出の要望意見書について ○本日の議事日程について ○要望意見書等の会派への参考配付について	
9.15 (金)	13:00 ～ 14:05 (00:12)	○第2回定例会 陳情第1号 ・次期苫小牧市長選挙と苫小牧市議会議員選挙を同一日とすることを求める陳情 ○動議の取扱いについて ○本日の案件と議事次第について	
12. 4 (月)	13:00 ～ 13:48 (00:48)	○第2回定例会 陳情第1号 ・次期苫小牧市長選挙と苫小牧市議会議員選挙を同一日とすることを求める陳情 ○市長提出事件について ○議長・議員提出事件について ○付議事件の取扱いについて ○会期の決定について ○一般質問の発言順位の決定について	閉会中
12. 7 (木)	09:45 ～ 16:32 (00:04)	○議長・議員提出追加事件について ○本日の案件と議事次第について	
12.11 (月)	15:05 ～ 17:59 (00:04)	○市長提出追加事件について ○付議事件の取扱いについて ○各会派提出の要望意見書及び決議について ○本日の議事日程について	
12.15 (金)	13:00 ～ 13:33 (00:07)	○本日の案件と議事次第について	

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
6. 2. 20 (火)	13:09 ～ 13:28 (00:19)	○ 2 月定例会の進め方について ○ 市長提出事件について ○ 議長提出事件について ○ 付議事件の取扱いについて ○ 会期の決定について ○ 代表質問の発言順位の決定について ○ 第 6 回 苫小牧市議会議場コンサートについて ○ 本会議における黙祷について	閉会中
2. 29 (木)	09:30 ～ 17:03 (00:07)	○ 代表質問の通告内容について ○ 要望意見書等の会派への参考配付について	
3. 1 (金)	15:01 ～ 15:35 (00:10)	○ 市長提出追加事件について ○ 付議事件の取扱いについて ○ 各会派提出の要望意見書について	
3. 12 (火)	11:11 ～ 11:26 (00:03)	○ 議長・議員提出追加事件について	
3. 15 (金)	13:00 ～ 13:50 (00:07)	○ 本日の案件と議事次第について ○ 質問通告及び会議提出資料について	

(7) 特別委員会

《総合開発特別委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
5. 6. 29 (木)	10:01 ～ 12:02 (02:01)	○ 所管事項 ・ 航空機事故関連について ・ 北海道内 7 空港の一体的運営に関する協議会について ・ (株) 苫東の経営概況について ・ 苫小牧地区工業団地内企業立地動向について	
9. 14 (木)	10:02 ～ 11:25 (01:23)	○ 所管事項 ・ 陸上自衛隊による戦車等の公道自走訓練について ・ 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について ・ 再エネ水素サプライチェーンを構築する実証事業について ・ 要望について	
10. 19 (木) ～10. 20 (金)	_____	○ 中央要望 ・ 地元選出国會議員、国土交通省、海上保安庁、財務省	閉会中
11. 8 (水) ～11. 10 (金)	_____	○ 視察調査 (熊本市、呉市)	閉会中
12. 14 (木)	10:03 ～ 12:04 (02:01)	○ 所管事項 ・ 要望について ・ 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について ・ 航空機事故関連について ・ 脱炭素先行地域の計画概要について ・ 苫小牧市再生可能エネルギー適正導入支援マップ (素案) について	

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
6. 3. 14 (木)	10:00 ～ 11:40 (01:40)	○所管事項 ・ 苫小牧駅周辺ビジョンに基づく基本構想（案）について ・ 多文化共生ビジョンの策定について ・ 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について ・ ゼロカーボンの推進に向けた取組について ・ 苫小牧市再生可能エネルギー適正導入支援マップ（成案）について ・ 令和6年度苫小牧港港湾整備事業予算及び令和5年苫小牧港の港勢について ・ 米艦船「HOWARD（ハワード）」の苫小牧港寄港について	

《安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
5. 6. 29 (木)	10:00 ～ 11:21 (01:21)	○所管事項 ・ 津波ハザードマップの配布について ・ 苫小牧市民文化ホール整備運営事業の進捗状況について	
9. 14 (木)	10:01 ～ 11:58 (01:57)	○所管事項 ・ 苫小牧市民文化ホール整備運営事業の進捗状況について ・ 苫小牧市総合防災訓練について	
11. 6 (月) ～11. 8 (水)	_____	○視察調査（神戸市、沼津市）	閉会中
12. 14 (木)	10:03 ～ 11:55 (01:52)	○所管事項 ・ 苫小牧市防災まちづくり基本構想について ・ 苫小牧市総合防災訓練について ・ 苫小牧市民文化ホール整備運営事業の進捗状況について	
6. 3. 14 (木)	10:00 ～ 12:17 (02:17)	○所管事項 ・ 苫小牧市防災まちづくり基本構想について ・ 災害時応援協定の締結について ・ 苫小牧市防災ハンドブックの改訂について ・ 苫小牧市民文化ホール整備運営事業の進捗状況について	

《令和4年度一般会計決算審査特別委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
5.10. 2 (月)	10:03 ～ 19:34 (07:27)	○第3回定例会・議案第3号（歳出①議会費～③民生費）	閉会中
10. 3 (火)	10:00 ～ 18:54 (07:09)	○第3回定例会・議案第3号（歳出④環境衛生費～⑧土木費）	閉会中
10. 4 (水)	10:00 ～ 15:38 (04:36)	○第3回定例会・議案第3号（歳出⑨消防費～⑭予備費、歳入、調書） ○総括質疑、討論、表決	閉会中

《令和4年度企業会計決算審査特別委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
5.10. 5 (木)	10:02 ～ 17:10 (05:36)	○第3回定例会・議案第4号（国保）～第7号（水道）	閉会中
10. 6 (金)	10:00 ～ 16:57 (05:18)	○第3回定例会・議案第7号（水道）～第10号（卸売市場） ○総括質疑、討論、表決	閉会中

《令和6年度一般会計予算審査特別委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
6. 3. 5 (火)	10:01 ～ 16:58 (05:34)	○第5回定例会・議案第10号（歳出①議会費、②総務費）	
3. 6 (水)	10:01 ～ 17:02 (05:33)	○第5回定例会・議案第10号（歳出②総務費～④環境衛生費）及び関連議案第23号、第25号	
3. 7 (木)	10:00 ～ 16:40 (05:15)	○第5回定例会・議案第10号（歳出④環境衛生費～⑦商工費）	
3. 8 (金)	10:00 ～ 17:05 (05:29)	○第5回定例会・議案第10号（歳出⑦商工費～⑩教育費）	
3.11 (月)	10:00 ～ 13:40 (02:39)	○第5回定例会・議案第10号（歳出⑩教育費～⑭予備費、歳入、予算条文）及び関連議案第27号～第30号、第33号	
3.12 (火)	10:00 ～ 10:49 (00:40)	○総括質疑、討論、表決	

《令和6年度企業会計予算審査特別委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
6. 3. 5 (火)	10:00 ～ 16:17 (04:41)	○第5回定例会・議案第11号（国保）、議案第12号（介護）及び関連議案第26号	
3. 6 (水)	10:01 ～ 16:51 (05:13)	○第5回定例会・議案第12号（介護）及び関連議案第26号、議案第13号（後期高齢）、議案第14号（水道）	
3. 7 (木)	10:00 ～ 16:32 (05:04)	○第5回定例会・議案第14号（水道）～議案第16号（病院）	
3. 8 (金)	10:00 ～ 14:00 (02:45)	○第5回定例会・議案第16号（病院）、議案第17号（卸売市場） ○総括質疑、討論、表決	

(8) 議会改革検討会

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
5. 6.14 (水)	13:00 ～ 13:20 (00:20)	○協議事項 ・議会改革の検討項目について	閉会中
6.30 (金)	11:01 ～ 11:28 (00:27)	○協議事項 ・議会改革について	
9.15 (金)	11:01 ～ 11:40 (00:39)	○協議事項 ・議員定数・報酬について ・議会のＩＣＴ化の推進について ・市民との意見交換会の活性化について	
12.15 (金)	11:01 ～ 11:32 (00:31)	○協議事項 ・議員定数・報酬について ・議会のＩＣＴ化の推進について	
6. 3.15 (金)	11:00 ～ 11:30 (00:30)	○協議事項 ・議員定数について ・議会のＩＣＴ化の推進について	

(9) 会議日程表

【第1回臨時会】 5. 5.15 (月) ～ 5.17 (水) (会期3日間)

日 程	会 議 区 分	付 議 事 件
1 5.15 月	本 会 議	・臨時議長の紹介・挨拶 ・仮議席の指定 ・諸般の報告 ・議員の自己紹介、市長挨拶、教育長・副市長・監査委員挨拶、市側出席者自己紹介 ・選挙（議長） ・議席の指定 ・会期の決定（5.15～5.18 4日間）
	全 員 協 議 会	・仮議席の指定 ・事務局職員の紹介 ・会派結成届の報告 ・議員控室の配置 ・会期の決定 ・議会人事について ・議席の指定（本会議場、大会議室）
2 5.16 火	本 会 議	・選挙（副議長、港管理組合議会議員） ・議案第1号（監査委員の選任）
3 5.17 水	本 会 議	・その他の議事（各常任委員会・議会運営委員会委員及び正副委員長の選任、議会運営委員会理事の選任、都市計画審議会委員の推薦、閉会中継続審査の承認、委員派遣の承認） ・決議案（第1号・第2号） ・報告（第1号～第4号） ・議案（第2号～第4号） ・会議日程の変更について
	議会運営委員会	・本日の案件と議事次第について ・付議事件の取扱いについて ・議会運営に関する申合せ事項について ・会期の短縮について

【第2回定例会】 5. 6.22 (木) ～ 6.30 (金) (会期9日間)

日 程	会 議 区 分	付 議 事 件
1 6.22 木	本 会 議	・議員表彰の伝達 ・会期の決定（6.22～6.30 9日間） ・諸般の報告 ・報告（第1号～第6号） ・陳情付託（第1号・第2号） ・議案第1号・第2号（人事案件＝全員協議会持越し） ・諮問第1号（人事案件＝全員協議会持越し） ・一般質問（4人）

日 程			会 議 区 分		付 議 事 件
2	6.23	金	本 会 議	10:00～17:07	・ 一般質問（6 人）
3	6.24	土	休 会	————	
4	6.25	日	休 会	————	
5	6.26	月	本 会 議	10:00～19：09	・ 一般質問（9 人）
			議会運営委員会	15:15～19：09	・ 各会派提出の要望意見書について ・ 本日の議事日程について
6	6.27	火	本 会 議	10:00～18:05	・ 一般質問（4 人） ・ 議案（第 1 号～第 3 号、第 5 号） ・ 諮問（第 1 号）
7	6.28	水	各 常 任 委 員 会	10:00～12:33	・ 付議事件及び所管事項
8	6.29	木	各 特 別 委 員 会	10:00～12:02	・ 所管事項
9	6.30	金	議会改革検討会	11:00～11:28	・ 議会改革について
			議会運営委員会	13:00～14:16	・ 付議事件 ・ 本日の案件と議事次第について
			本 会 議	13:40～14:16	・ 報告（第 7 号） ・ 議案（第 4 号、第 6 号～第 1 9 号） ・ 意見書案（第 1 号～第 6 号） ・ その他の議事（閉会中継続審査の承認、委員派遣の承認）

【第3回定例会】 5. 9. 7（木）～ 9.15（金） （会期9日間）

日 程			会 議 区 分		付 議 事 件	
1	9. 7	木	本 会 議	10:00～17:03	・ 会期の決定（9. 7～9. 15　9 日間） ・ 諸般の報告 ・ 報告（第 1 号～第 3 号） ・ 陳情付託（第 1 号） ・ 議案第 1 号・第 2 号（人事案件＝全員協議会持越し） ・ 行政報告 ・ 議案（第 1 8 号） ・ 一般質問（3 人）	
2	9. 8	金	本 会 議	10:00～16:53	・ 一般質問（6 人）	
3	9. 9	土	休 会	————		
4	9. 10	日	休 会	————		
5	9. 11	月	本 会 議	10:00～17:38	・ 一般質問（8 人）	
			議会運営委員会	12:37～17:38	・ 動議の取扱いについて ・ 各会派提出の要望意見書について ・ 本日の議事日程について ・ 要望意見書等の会派への参考配付について	
6	9. 12	火	本 会 議	10:01～19:19	・ 一般質問（5 人） ・ 議案（第 1 号～第 1 7 号、第 2 0 号） ・ 一般・企業会計決算審査特別委員会設置 ・ 一般・企業会計決算審査特別委員会正副委員長の指名	

日 程			会 議 区 分		付 議 事 件
					・一般・企業会計決算審査特別委員会理事会設置及び理事の指名
7	9.13	水	各 常 任 委 員 会	10:00～13:51	・付議事件及び所管事項
8	9.14	木	各 特 別 委 員 会	10:01～11:58	・所管事項
9	9.15	金	議会改革検討会	11:01～11:40	・議員定数・報酬について ・議会のＩＣＴ化の推進について ・市民との意見交換会の活性化について
			議会運営委員会	13:00～14:05	・付議事件 ・動議の取扱いについて ・本日の案件と議事次第について
			本 会 議	13:26～14:05	・報告（第４号） ・議案（第１９号） ・意見書案（第１号～第３号） ・その他の議事（閉会中継続審査の承認、委員派遣の承認）

【第４回定例会】 5.12. 7（木）～12.15（金） （会期９日間）

日 程			会 議 区 分		付 議 事 件
1	12. 7	木	議会運営委員会	9:45～16:32	・議長・議員提出追加事件について ・付議事件の取扱いについて ・本日の案件と議事次第について
			本 会 議	10:00～16:32	・会期の決定（12. 7～12.15 ９日間） ・諸般の報告 ・報告（第１号～第５号） ・陳情付託（第１号） ・諮問第１号（人事案件＝全員協議会持越し） ・議案（第５号） ・一般質問（５人）
2	12. 8	金	本 会 議	10:00～17:56	・一般質問（７人）
3	12. 9	土	休 会	—————	
4	12.10	日	休 会	—————	
5	12.11	月	本 会 議	10:00～17:59	・一般質問（８人）
			議会運営委員会	15:05～17:59	・市長提出追加事件について ・付議事件の取扱いについて ・各会派提出の要望意見書及び決議について ・本日の議事日程について
6	12.12	火	本 会 議	10:00～18:15	・一般質問（４人） ・諮問（第１号） ・議案（第１号～第４号、第６号、第７号、第１０号～第２３号）
7	12.13	水	各 常 任 委 員 会	10:00～14:09	・付議事件及び所管事項
8	12.14	木	各 特 別 委 員 会	10:03～12:04	・所管事項
9	12.15	金	議会改革検討会	11:01～11:32	・議員定数・報酬について ・議会のＩＣＴ化の推進について

日 程			会 議 区 分	付 議 事 件	
			議会運営委員会	13:00～13:33	・ 本日の案件と議事次第について
			本 会 議	13:13～13:33	・ 報告（第6号） ・ 議案（第8号、第9号、第24号～第26号） ・ 意見書案（第1号） ・ 決議案（第1号） ・ その他の議事（閉会中継続審査の承認、委員派遣の承認）

【第5回定例会】 6. 2.22（木）～ 3.15（金） （会期23日間）

日 程			会 議 区 分		付 議 事 件
1	2. 22	木	本 会 議	10:02～15:52	・ 会期の決定（2. 22～3. 15 23日間） ・ 諸般の報告 ・ 報告（第 1 号） ・ 陳情付託（第 1 号） ・ 議案第 1 号（人事案件＝全員協議会持越し） ・ 市政方針及び教育行政執行方針 ・ 行政報告 ・ 議案（第 2 号～第 9 号、第 2 2 号、第 3 4 号、第 3 5 号、第 3 8 号）
2	2. 23	金	休 会	————	
3	2. 24	土	休 会	————	
4	2. 25	日	休 会	————	
5	2. 26	月	休 会	————	（議案検討日）
6	2. 27	火	休 会	————	（議案検討日）
7	2. 28	水	休 会	————	（議案検討日）
8	2. 29	木	議会運営委員会	9:30～17:03	・ 代表質問の通告内容について ・ 要望意見書等の会派への参考配信について
			本 会 議	10:00～17:03	・ 代表質問（2 人）
9	3. 1	金	本 会 議	10:02～15:35	・ 代表質問（2 人）
			議会運営委員会	15:01～15:35	・ 市長提出追加事件について ・ 付議事件の取扱いについて ・ 各会派提出の要望意見書について
10	3. 2	土	休 会	————	
11	3. 3	日	休 会	————	
12	3. 4	月	本 会 議	10:00～16:39	・ 代表質問（2 人） ・ 議案（第 1 号） ・ 一般・企業会計予算審査特別委員会設置 ・ 一般・企業会計予算審査特別委員会正副委員長の指名 ・ 一般・企業会計予算審査特別委員会理事会設置及び理事の指名
13	3. 5	火	各 予 算 審 査 特 別 委 員 会	10:00～16:58	・ 付議事件審査（新年度予算及び関連議案）

日 程			会 議 区 分		付 議 事 件
14	3. 6	水	各 予 算 審 査 特 別 委 員 会	10:01～17:02	・ 付議事件審査（新年度予算及び関連議案）
15	3. 7	木	各 予 算 審 査 特 別 委 員 会	10:00～16:40	・ 付議事件審査（新年度予算）
16	3. 8	金	各 予 算 審 査 特 別 委 員 会	10:00～17:05	・ 付議事件審査（新年度予算及び関連議案）
17	3. 9	土	休 会	————	
18	3.10	日	休 会	————	
19	3.11	月	一般会計予算審 査 特 別 委 員 会	10:00～13:40	・ 付議事件審査（新年度予算及び関連議案）
20	3.12	火	一般会計予算審 査 特 別 委 員 会	10:00～10:49	・ 付議事件審査（新年度予算及び関連議案）
			議会運営委員会	11:11～11:26	・ 議長・議員提出追加事件について
			本 会 議	11:20～11:26	・ 報告（第2号・第3号）
21	3.13	水	各 常 任 委 員 会	10:00～13:56	・ 付議事件及び所管事項
22	3.14	木	各 特 別 委 員 会	10:00～12:17	・ 所管事項
23	3.15	金	議会改革検討会	11:00～11:30	・ 議員定数について ・ 議会の I C T 化の推進について
			議会運営委員会	13:00～13:50	・ 本日の案件と議事次第について ・ 質問通告及び会議提出資料について
			本 会 議	13:15～13:50	・ 報告（第4号） ・ 議案（第18号～第21号、第24号、第31号、 第32号、第36号、第37号、第39号～第41 号） ・ 意見書案（第1号～第4号） ・ その他の議事（閉会中継続審査の承認、委員派遣の 承認）

(10) 議決結果表

【第1回臨時会】

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
選 挙 1	議長の選挙について (藤田 広美 議員)	臨 時 議 長	5.15	当	選 指 名 推 選
〃 2	副議長の選挙について (岩田 薫 議員)	議 長	5.16	〃	
〃 3	苫小牧港管理組合議会議員の選挙について (首藤 孝治、竹田 秀泰、池田 謙次、谷 川 芳一、松尾 省勝 各議員)	〃	〃	〃	
報 告 第 1 号	専決処分について (令和5年度苫小牧市一般会計補正予算(第 2回))	市 長	5.17	承	認
〃 第 2 号	専決処分について (苫小牧市税条例の一部改正)	〃	〃	〃	
〃 第 3 号	専決処分について (損害賠償の額の決定及びこれに係る和解)	〃	〃	〃	
〃 第 4 号	専決処分について (損害賠償の額の決定及びこれに係る和解)	〃	〃	〃	
議 案 第 1 号	苫小牧市監査委員の選任について (越川 慶一 議員)	〃	5.16	原 案 同 意	
〃 第 2 号	令和5年度苫小牧市一般会計補正予算(第3 回)について	〃	5.17	原 案 可 決	
〃 第 3 号	契約の締結について (大成町市営住宅(1-11-1)西面外壁 改修主体工事)	〃	〃	〃	
〃 第 4 号	契約の締結について (沼ノ端小学校大規模改修主体工事)	〃	〃	〃	
決 議 案 第 1 号	総合開発特別委員会設置に関する決議	議 員	〃	〃	
〃 第 2 号	安全・安心及び市民文化ホールに関する特別 委員会設置に関する決議	〃	〃	〃	
その 他 議 事 1	常任委員会委員及び正副委員長を選任につ いて	議 長	〃	選	任
〃 議 事 2	議会運営委員会委員、正副委員長及び理事の 選任について	〃	〃	〃	
〃 議 事 3	都市計画審議会委員の推薦について	〃	〃	推 薦 決 定	
〃 議 事 4	閉会中継続審査の承認について	〃	〃	承	認
〃 議 事 5	委員派遣の承認について	〃	〃	〃	

【第2回定例会】

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
報 告 第 1 号	予算の繰越しについて (令和4年度苫小牧市一般会計予算に係る継 続費の繰越し)	市 長	6.22	報 告 終 了	
〃 第 2 号	予算の繰越しについて (令和4年度苫小牧市一般会計予算に係る繰 越明許費の繰越し)	〃	〃	〃	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
報 告 第 3 号	予算の繰越しについて (令和4年度苫小牧市下水道事業会計予算に係る建設改良費の繰越し)	市 長	6.22	報 告 終 了	
〃 第 4 号	予算の繰越しについて (令和4年度苫小牧市下水道事業会計予算に係る事故繰越しの繰越し)	〃	〃	〃	
〃 第 5 号	予算の繰越しについて (令和4年度苫小牧市下水道事業会計予算に係る継続費の繰越し)	〃	〃	〃	
〃 第 6 号	専決処分について (訴えの提起)	〃	〃	〃	
〃 第 7 号	厚生委員会審査結果報告について	議 長 委員長	6.30	報 告 ど お り 決 定	
	[第2回定例会・陳情第2号 採択]				
陳 情 第 1 号	次期苫小牧市長選挙と苫小牧市議会議員選挙を同一日とすることを求める陳情	議 長	6.22 6.30	議会運営委員会付託 継 続 審 査	
〃 第 2 号	特定商取引法の平成28年改正における5年後見直しに基づく抜本的改正を求める要望意見書提出に関する陳情	〃	〃 〃	厚 生 委 員 会 付 託 採 択	
議 案 第 1 号	苫小牧市公平委員会委員の選任について (柳瀬留美子氏)	市 長	6.27	原 案 同 意	
〃 第 2 号	苫小牧市農業委員会委員の任命について (今泉宏治氏、野村真理子氏、中岡亮太氏、嶺野眞弓氏、寒河江一富氏、堀勝氏、早勢光明氏)	〃	〃	〃	
〃 第 3 号	令和5年度苫小牧市一般会計補正予算(第4回)について	〃	〃	原 案 可 決	
〃 第 4 号	苫小牧市個人番号の利用に関する条例の一部改正について	〃	6.30	〃	
〃 第 5 号	苫小牧市奨学金返還支援基金条例の制定について	〃	6.27	〃	
〃 第 6 号	苫小牧市税条例の一部改正について	〃	6.30	〃	
〃 第 7 号	苫小牧市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	〃	〃	〃	
〃 第 8 号	苫小牧市立病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	〃	〃	〃	
〃 第 9 号	苫小牧市火災予防条例の一部改正について	〃	〃	〃	
〃 第 10 号	契約の締結について (樽前小学校校舎改築主体工事)	〃	〃	〃	
〃 第 11 号	契約の締結について (樽前小学校屋内運動場改築主体工事)	〃	〃	〃	
〃 第 12 号	契約の締結について (令和5年度日新団地市営住宅2号棟(3F 24戸)新築主体工事)	〃	〃	〃	
〃 第 13 号	契約の締結について (ウトナイ小学校校舎増築主体工事)	〃	〃	〃	
〃 第 14 号	動産の取得について (校務用ノートパソコン)	〃	〃	〃	
〃 第 15 号	動産の取得について (整氷車)	〃	〃	〃	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
議 案 第 16 号	動産の取得について (整氷車)	市 長	6. 30	原 案 可 決	
〃 第 17 号	動産の取得について (ロータリー除雪車)	〃	〃	〃	
〃 第 18 号	動産の取得について (高度救命処置用資器材)	〃	〃	〃	
〃 第 19 号	土地の譲渡について	〃	〃	〃	
諮 問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について (阿部仁美氏、上林義幸氏)	〃	6. 27	可とすることに決定	
意見書案 第 1 号	特定商取引法の平成 2 8 年改正における 5 年 後見直しに基づく抜本的改正を求める要望意 見書	議 員	6. 30	原 案 可 決	
〃 第 2 号	地方財政の充実・強化に関する要望意見書	〃	〃	〃	
〃 第 3 号	2 0 2 3 年度北海道最低賃金改正等に関する 要望意見書	〃	〃	〃	
〃 第 4 号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林 業・木材産業施策の充実強化を求める要望意 見書	〃	〃	〃	
〃 第 5 号	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配 置を求める要望意見書	〃	〃	〃	
〃 第 6 号	学校給食の無償化を求める要望意見書	〃	〃	〃	
その他の 議 事 1	閉会中継続審査の承認について	議 長	〃	承 認	
その他の 議 事 2	委員派遣の承認について	〃	〃	〃	

【第 3 回定例会】

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
報 告 第 1 号	継続費の精算について (東開文化交流サロン整備事業、住宅建設事 業(日新団地市営住宅 8 号棟)及び沼ノ端中 学校大規模改修事業)	市 長	9. 7	報 告 終 了	
〃 第 2 号	継続費の精算について (高丘浄水場管理棟設備更新事業)	〃	〃	〃	
〃 第 3 号	健全化判断比率及び資金不足比率について	〃	〃	〃	
〃 第 4 号	厚生委員会審査結果報告について [第 3 回定例会・陳情第 1 号 採択]	議 長 委員長	9. 15	報 告 ど お り 決 定	
陳 情 第 1 号	苫小牧市の公共施設におけるおむつ交換ス ペースの設置に関する陳情	議 長	9. 7 9. 15	厚 生 委 員 会 付 託 採 択	
議 案 第 1 号	苫小牧市教育委員会委員の任命について (佐藤郁子氏)	市 長	9. 12	原 案 同 意	
〃 第 2 号	苫小牧市公平委員会委員の選任について (松田奏保氏)	〃	〃	〃	
〃 第 3 号	令和 4 年度苫小牧市一般会計歳入歳出決算の 認定について	〃	9. 12 9. 15	一 般 会 計 決 算 審 査 特 別 委 員 会 付 託 閉 会 中 継 続 審 査	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
議 案 第 4 号	令和 4 年度苫小牧市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市 長	9. 12	企業会計決算審査 特別委員会付託	
			9. 15	閉会中継続審査	
〃 第 5 号	令和 4 年度苫小牧市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃	
〃 第 6 号	令和 4 年度苫小牧市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃	
〃 第 7 号	令和 4 年度苫小牧市水道事業会計利益剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	〃	
〃 第 8 号	令和 4 年度苫小牧市下水道事業会計利益剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	〃	
〃 第 9 号	令和 4 年度苫小牧市立病院事業会計資本剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	〃	
〃 第 10 号	令和 4 年度苫小牧市公設地方卸売市場事業会計決算の認定について	〃	〃	〃	
〃 第 11 号	令和 5 年度苫小牧市一般会計補正予算（第 5 回）について	〃	9. 12	原 案 可 決	
〃 第 12 号	令和 5 年度苫小牧市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 13 号	令和 5 年度苫小牧市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 14 号	令和 5 年度苫小牧市水道事業会計補正予算（第 1 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 15 号	令和 5 年度苫小牧市下水道事業会計補正予算（第 1 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 16 号	令和 5 年度苫小牧市立病院事業会計補正予算（第 1 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 17 号	令和 5 年度苫小牧市公設地方卸売市場事業会計補正予算（第 1 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 18 号	苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	9. 7	〃	
〃 第 19 号	苫小牧市まちなか交流センター条例の一部改正について	〃	9. 15	〃	
〃 第 20 号	苫小牧市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	〃	9. 12	〃	
意見書案 第 1 号	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書	議 員	9. 15	〃	
〃 第 2 号	ブラッドパッチ療法に対する適正な診療上の評価等を求める要望意見書	〃	〃	〃	
〃 第 3 号	北海道における小中学校への冷房設備の設置に対する財政措置を求める要望意見書	〃	〃	〃	
その他の 議 事 1	閉会中継続審査の承認について	議 長	〃	承 認	
その他の 議 事 2	委員派遣の承認について	〃	〃	〃	

【第 4 回定例会】

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
報 告 第 1 号	一般会計決算審査特別委員会審査結果報告について	議 長 委員長	12. 7	報 告 ど お り 決 定	
	〔第 3 回定例会・議案第 3 号 原案認定〕				

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
報 告 第 2 号	企業会計決算審査特別委員会審査結果報告について 〔第 3 回定例会・議案第 4 号～第 6 号、第 1 0 号 原案認定、議案第 7 号～第 9 号 原案可決及び認定〕	議 長 委員長	12. 7	報 告 ど お り 決 定	
〃 第 3 号	専決処分について (訴えの提起)	市長職務 代 理 者	〃	報 告 終 了	
〃 第 4 号	専決処分について (損害賠償の額の確定及びこれに係る和解)	〃	〃	〃	
〃 第 5 号	議会運営委員会審査結果報告について 〔第 2 回定例会・陳情第 1 号 不採択〕	議 長 委員長	〃	否	決 第 2 回定例会 陳情第 1 号 賛成少数 (賛成：公明、 民主、改革)
〃 第 6 号	文教経済委員会審査結果報告について 〔第 4 回定例会・陳情第 1 号 不採択〕	〃 〃	12. 15	報 告 ど お り 決 定	陳情第 1 号 賛成少数 (賛成：共産)
陳 情 第 1 号	福島第一原発のALPS処理水の海洋放出を 直ちに中止し、処理水減容の抜本的対策を求 めることを国に求める要望意見書提出に関する陳情	議 長	12. 7 12. 15	文教経済委員会付託 不 採 択	
議 案 第 1 号	令和 5 年度苫小牧市一般会計補正予算（第 6 回）について	市長職務 代 理 者	12. 12	原 案 可 決	
〃 第 2 号	令和 5 年度苫小牧市国民健康保険事業特別会 計補正予算（第 2 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 3 号	令和 5 年度苫小牧市介護保険事業特別会計補 正予算（第 2 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 4 号	令和 5 年度苫小牧市水道事業会計補正予算（ 第 2 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 5 号	苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例等 の一部改正について	〃	12. 7	〃	
〃 第 6 号	苫小牧市こども・子育て応援基金条例の制定 について	〃	12. 12	〃	
〃 第 7 号	苫小牧市税条例の一部改正について	〃	〃	〃	
〃 第 8 号	苫小牧市テクノセンター条例の一部改正につ いて	〃	12. 15	〃	
〃 第 9 号	苫小牧市火災予防条例の一部改正について	〃	〃	〃	
〃 第 10 号	指定管理者の指定について	〃	12. 12	〃	
〃 第 11 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	
〃 第 12 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	
〃 第 13 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	
〃 第 14 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	
〃 第 15 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	
〃 第 16 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
議 案 第 17 号	指定管理者の指定について	市長職務 代 理 者	12. 12	原 案 可 決	
〃 第 18 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	
〃 第 19 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	
〃 第 20 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	
〃 第 21 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	
〃 第 22 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	
〃 第 23 号	令和 5 年度苫小牧市一般会計補正予算（第 7 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 24 号	動産の取得について （小中学校用移動式クーラー）	〃	12. 15	〃	
〃 第 25 号	苫小牧市議会委員会条例の一部改正について	議 員	〃	〃	
〃 第 26 号	苫小牧市議会会議規則の一部改正について	〃	〃	〃	
諮 問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について （岡田秀樹氏、二階堂久美子氏、齊藤裕子氏、 木村義人氏、澤出さゆり氏）	市長職務 代 理 者	12. 12	可とすることに決定	
意見書案 第 1 号	認知症との共生社会の実現を求める要望意見書	議 員	12. 15	原 案 可 決	
決議案 第 1 号	イスラエルとハマスの即時停戦を求める決議	〃	〃	〃	
その他の 議 事 1	閉会中継続審査の承認について	議 長	〃	承 認	
その他の 議 事 2	委員派遣の承認について	〃	〃	〃	

【第 5 回定例会】

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
報 告 第 1 号	専決処分について （損害賠償の額の決定及びこれに係る和解）	市 長	2. 22	報 告 終 了	
〃 第 2 号	一般会計予算審査特別委員会審査結果報告に ついて	議 長 委員長	3. 12	報 告 ど お り 決 定	
〃 第 3 号	企業会計予算審査特別委員会審査結果報告に ついて	〃 〃	〃	〃	
〃 第 4 号	厚生委員会審査結果報告について	〃 〃	3. 15	〃	陳情第 1 号 賛成多数 （反対：新緑、 公明）
陳 情 第 1 号	物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引上げを 求める要望意見書提出に関する陳情	議 長	2. 22 3. 15	厚 生 委 員 会 付 託 採 択	
議 案 第 1 号	苫小牧市固定資産評価審査委員会委員の選任 について （伊藤芳一氏、邨山達哉氏、松井光宏氏）	市 長	3. 4	原 案 同 意	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
議 案 第 2 号	令和 5 年度苫小牧市一般会計補正予算（第 8 回）について	市 長	2. 22	原 案 可 決	
〃 第 3 号	令和 5 年度苫小牧市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 4 号	令和 5 年度苫小牧市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 5 号	令和 5 年度苫小牧市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 6 号	令和 5 年度苫小牧市水道事業会計補正予算（第 3 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 7 号	令和 5 年度苫小牧市下水道事業会計補正予算（第 2 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 8 号	令和 5 年度苫小牧市立病院事業会計補正予算（第 2 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 9 号	令和 5 年度苫小牧市公設地方卸売市場事業会計補正予算（第 2 回）について	〃	〃	〃	
〃 第 10 号	令和 6 年度苫小牧市一般会計予算について	〃	3. 4 3. 12	一般会計予算審査 特別委員会付託 原 案 可 決	
〃 第 11 号	令和 6 年度苫小牧市国民健康保険事業特別会計予算について	〃	〃 〃	企業会計予算審査 特別委員会付託 原 案 可 決	
〃 第 12 号	令和 6 年度苫小牧市介護保険事業特別会計予算について	〃	〃 〃	〃 〃	
〃 第 13 号	令和 6 年度苫小牧市後期高齢者医療特別会計予算について	〃	〃 〃	〃 〃	
〃 第 14 号	令和 6 年度苫小牧市水道事業会計予算について	〃	〃 〃	〃 〃	
〃 第 15 号	令和 6 年度苫小牧市下水道事業会計予算について	〃	〃 〃	〃 〃	
〃 第 16 号	令和 6 年度苫小牧市立病院事業会計予算について	〃	〃 〃	〃 〃	
〃 第 17 号	令和 6 年度苫小牧市公設地方卸売市場事業会計予算について	〃	〃 〃	〃 〃	
〃 第 18 号	苫小牧市個人番号の利用に関する条例の一部改正について	〃	3. 15	原 案 可 決	
〃 第 19 号	苫小牧市子ども・子育て審議会条例の一部改正について	〃	〃	〃	
〃 第 20 号	苫小牧市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〃	〃	〃	
〃 第 21 号	苫小牧市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	〃	〃	〃	
〃 第 22 号	苫小牧市手数料条例の一部改正について	〃	2. 22	〃	
〃 第 23 号	苫小牧市ヤングケアラー支援条例の制定について	〃	3. 4 3. 12	一般会計予算審査 特別委員会付託 原 案 可 決	
〃 第 24 号	苫小牧市子どもを虐待から守る条例の一部改正について	〃	3. 15	原 案 可 決	
〃 第 25 号	苫小牧市乳幼児等医療費助成条例の一部改正について	〃	3. 4 3. 12	一般会計予算審査 特別委員会付託 原 案 可 決	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
議 案 第 26 号	苫小牧市介護保険条例の一部改正について	市 長	3. 4	企業会計予算審査 特別委員会付託	
			3.12	原 案 可 決	
〃 第 27 号	苫小牧市道路占用料徴収条例の一部改正について	〃	〃	一般会計予算審査 特別委員会付託	
			〃	原 案 可 決	
〃 第 28 号	苫小牧市準用河川流水占用料等徴収条例の一部改正について	〃	〃	〃	
			〃	〃	
〃 第 29 号	苫小牧市普通河川管理条例の一部改正について	〃	〃	〃	
			〃	〃	
〃 第 30 号	苫小牧市都市公園条例の一部改正について	〃	〃	〃	
			〃	〃	
〃 第 31 号	苫小牧市建築基準法施行条例の一部改正について	〃	3.15	原 案 可 決	
〃 第 32 号	苫小牧市水道事業給水条例の一部改正について	〃	〃	〃	
〃 第 33 号	苫小牧市消防関係手数料条例の一部改正について	〃	3. 4	一般会計予算審査 特別委員会付託	
			3.12	原 案 可 決	
〃 第 34 号	土地の譲渡について	〃	2.22	原 案 可 決	
〃 第 35 号	土地の譲渡について	〃	〃	〃	
〃 第 36 号	市道路線の廃止について	〃	3.15	〃	
〃 第 37 号	市道路線の認定について	〃	〃	〃	
〃 第 38 号	苫小牧市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定の変更について	〃	2.22	〃	
〃 第 39 号	令和6年度苫小牧市一般会計補正予算（第1回）について	〃	3.15	〃	
〃 第 40 号	苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	〃	〃	
〃 第 41 号	苫小牧市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	〃	〃	
意見書案 第 1 号	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の引上げを求める要望意見書	議 員	〃	〃	賛成多数 （反対：新緑、 公明）
〃 第 2 号	医薬品の安定供給確保並びにイノベーション推進を求める要望意見書	〃	〃	〃	
〃 第 3 号	若者のオーバードーズ防止対策の強化を求める要望意見書	〃	〃	〃	
〃 第 4 号	生涯を通じた歯科健診の実現を求める要望意見書	〃	〃	〃	
その他の 議 事 1	閉会中継続審査の承認について	議 長	〃	承 認	
その他の 議 事 2	委員派遣の承認について	〃	〃	〃	

(11) 代表・一般質問内容

【第2回定例会】

一般質問

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
5. 6. 22	1	山 谷 芳 則 (新 緑)	1 政治姿勢 (1) 駅周辺ビジョンについて (2) 都市再生コンテンツ創出事業について (3) まちなか交流センターについて 2 子育て支援 (1) こども未来戦略方針の子育て支援について (2) 室蘭児童相談所苫小牧分室への一時保護所機能の設置について 3 スポーツ行政 (1) 総合体育館の建て替えについて (2) 陸上競技場の現状について (3) 第78回国民スポーツ大会冬季大会について 4 危機管理 (1) 津波災害対策について 5 商工業の振興 (1) 企業立地誘致の促進について
	2	池 田 謙 次 (公明党議員団)	1 企業誘致 (1) R a p i d u s について (2) ベンチャーウイスキーについて 2 防災行政 (1) 多目的タワーと避難所について 3 港行政 (1) 苫小牧港開港60周年記念事業について (2) ふらっとみなと市場の改修について 4 福祉行政 (1) 福祉タクシーについて (2) 福祉ふれあいセンターについて (3) 障がい者のためのバスの運行について (4) 福祉用具のリユースについて 5 環境行政 (1) 戸別収集について
	3	小 山 征 三 (民主クラブ)	1 政治姿勢 (1) M I C E について (2) I R について 2 災害対策 (1) 災害時と新型コロナウイルス感染症の各法制度の活用について (2) 危機管理体制について (3) 線状降水帯の対応について (4) 日本海溝・千島海溝沿い巨大地震対策について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(5) 避難行動要支援者支援制度について 3 町内会活動について 4 消防指令業務共同運用について 5 職員等の労務管理 (1) 定年延長と再任用について (2) 会計年度任用職員と委託職員について (3) 指定管理者制度について 6 選挙投票率向上 (1) 郵便等投票制度について (2) 移動期日前投票所について
	4	牧 田 俊 之 (改革フォーラム)	1 安全・安心 (1) 防犯 ア 犯罪認知件数について イ ながら見守りタイ！について ウ 青色防犯パトロールについて 2 ゼロカーボン (1) 水素について (2) 合成燃料について 3 産業振興 (1) R a p i d u s について
5. 6. 23	5	森 本 健 太 (日本共産党市議団)	1 子育て支援 (1) 乳幼児等医療費助成制度の拡大について 2 エゾシカ対策 (1) 苫小牧市内のエゾシカ被害について (2) エゾシカ被害の対策について
	6	桜 井 忠 (会派市民)	1 R a p i d u s の千歳進出について 2 マイナンバーカードについて 3 L G B T 法案について 4 健康政策 (1) 超過死亡数の激増について (2) 新型コロナウイルス及びワクチンについて (3) H P V ワクチンについて 5 自転車通学について
	7	佐々木 修 司 (民主クラブ)	1 政治姿勢 (1) 北海道バレー構想について 2 多文化共生の推進について 3 放課後児童クラブについて
	8	橋 本 智 子 (民主クラブ)	1 政治姿勢 (1) 都市再生コンセプトプランについて 2 ヤングケアラーについて 3 環境行政 (1) 生物多様性について (2) 企業立地の際の環境に与える影響について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
5. 6. 26			4 消費者行政 (1) 消費者被害について 5 平和教育について
	9	大 西 厚 子 (公明党議員団)	1 子育て支援 (1) 産後ケア対策について 2 教育行政 (1) 特別支援教育の後期中等教育について (2) 学校トイレへの生理用品の配置について 3 男女平等参画社会 (1) 生理用品の無償提供について 4 公園整備 (1) 緑ヶ丘公園金太郎の池周辺のバリアフリー化について (2) 少子高齢化に対応した公園整備について
	10	志 方 光 徳 (新 緑)	1 内部事務の未来対応 (1) E B P M及び各種データ連携に関する取組について 2 えきまえ (1) えきまえエリアに関する取組について 3 アフターコロナ (1) 飲食店街の状況と交通課題について 4 文化振興について 5 行政 B C P (1) 移動系防災行政無線について
	11	松 尾 省 勝 (民主クラブ)	1 公共施設における今後の設備改善について 2 L G B T Q施策の推進について
5. 6. 26	12	原 啓 司 (日本共産党市議団)	1 平和行政 (1) 非核平和都市条例の推進について (2) 非核神戸方式について 2 マイナンバーカード (1) マイナンバーカードをめぐるトラブルについて (2) 医療、介護等への影響について
	13	山 田 隆 子 (新 緑)	1 福祉行政 (1) 障がい福祉 ア 福祉トイレカーの利活用について イ あいサポート運動の普及について ウ 医療的ケア児支援等について (2) 地域包括ケアシステムの深化に向けた取組について 2 子ども・若者支援 (1) 苫小牧市子ども・若者支援地域協議会について 3 男女平等参画推進 (1) 男女平等参画都市宣言 10 周年記念事業等について
	14	嶋 中 康 晴 (新 緑)	1 教育行政 (1) 中学校部活動の地域移行について (2) 子どもの体力低下について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			2 若者福祉行政 (1) 苫小牧市子ども・若者支援地域協議会について
	15	大 野 正 和 (公明党議員団)	1 安心安全対策 (1) 本庁舎の安全について 2 防災行政 (1) ハザードマップと防災ハンドブックの活用について (2) 施設等の災害対策について (3) 防災備蓄品について (4) 防災訓練について 3 児童虐待防止対策 (1) 苫小牧市における一時保護について 4 教育行政 (1) 登校時間の課題について
	16	首 藤 孝 治 (改革フォーラム)	1 まちなかの活性化と総合体育館について 2 家庭ごみの戸別収集事業と戸別収集 8 5 事業について
	17	松 井 雅 宏 (改革フォーラム)	1 情報通信環境について 2 高齢者施設への対応について 3 J F E リサイクルプラザ苫小牧について 4 中学校部活動の地域移行について
	18	富 岡 隆 (日本共産党市議団)	1 電気料金の大幅な値上げについて 2 物価高騰による市民や事業者等の影響について 3 旧サンプラザビル問題について 4 障がいのある児童生徒の通学について
	19	竹 田 秀 泰 (新 緑)	1 政治姿勢 (1) 苫小牧市民文化ホールについて (2) 鳥獣被害対策について (3) 次世代半導体工場 R a p i d u s について 2 教育行政 (1) 不登校対策について
5. 6. 27	20	神 山 哲太郎 (公明党議員団)	1 防災行政 (1) 災害ケースマネジメントについて (2) 津波避難経路の現状と課題について 2 交通安全 (1) 自転車のヘルメット着用努力義務について 3 人口減少対策 (1) 移住及び定住の促進について 4 まちづくり (1) ひと休みいすの設置について (2) 住宅街道路の在り方について 5 子ども行政 (1) 里親制度 ア 制度の現状と課題について
	21	小野寺 幸 恵	1 P F I 事業と今後の公共施設の考え方について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
		(日本共産党市議団)	2 ごみの資源化と減量化の促進について 3 原発について
	22	喜 多 新 二 (新 緑)	1 障がい教育行政 (1) 特別支援学校の幼稚部及び高等部について 2 障がい福祉行政 (1) 障がい者就労支援について 3 教育行政 (1) 樽前小学校について (2) フリースクールについて 4 若者福祉行政 (1) 高校生世代の若者支援について (2) KOWAKAと苫小牧市子ども・若者支援地域協議会の体制について 5 まちづくり行政 (1) コミュニティFMについて
	23	触 沢 高 秀 (無 所 属)	1 オーガニックビレッジについて 2 学校給食 (1) 給食食材、オーガニック食材について (2) 農林水産省補助事業の有機農産物新規取扱支援について

【第3回定例会】

一般質問

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
5. 9. 7	1	池 田 謙 次 (公明党議員団)	1 物価高騰対策 (1) 灯油高騰対策と（仮称）生活支援金について 2 総合体育館 (1) 総合体育館の建て替えについて 3 防災行政 (1) 防災タワーと避難所の設置について 4 温暖化対策 (1) 小中学校の扇風機、市庁舎及び市立病院へのエアコンの設置について 5 福祉行政 (1) 福祉タクシーと福祉ふれあいセンターについて 6 教育行政 (1) 学校給食の無償化の拡大について 7 次世代エネルギー (1) 認識と今後の取組について 8 観光行政 (1) オートリゾート苫小牧アルテンについて (2) ぷらっとみなと市場について 9 2024年問題 (1) 認識と今後の取組について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
	2	小 山 征 三 (民主クラブ)	1 政治姿勢 (1) 核廃絶と核抑止について (2) データセンター誘致について (3) インボイス制度について 2 マイナンバーカードと健康保険証について 3 介護輸送事業について 4 職員等の労務管理 (1) タイムカードの導入について (2) エンゲージメント実態調査について (3) 指定管理者制度について
	3	首 藤 孝 治 (改革フォーラム)	1 社会福祉 (1) 医療的ケア児について 2 公共施設 (1) 社会情勢の変化と公共施設の在り方について
5. 9. 8	4	小野寺 幸 恵 (日本共産党市議団)	1 子育て応援 (1) おむつとミルクについて (2) 教材費支援とふるさと納税について 2 児童センターと放課後児童クラブの運営について 3 部活動指導員の服務について
	5	谷 川 芳 一 (会派市民)	1 環境行政 (1) 一般ごみ収集について (2) コンポストの利用実態について (3) 事業系ごみ分別収集について 2 総務行政 (1) 職員の服務規程について
	6	喜 多 新 二 (新 緑)	1 子ども行政 (1) 指定管理者の虚偽報告について 2 市民生活行政 (1) ヒグマ対策について 3 観光行政 (1) ワークेशन事業について 4 教育行政 (1) 小中学校の熱中症対策について 5 スポーツ行政 (1) スケートボード場について
	7	嶋 中 康 晴 (新 緑)	1 教育行政 (1) コミュニティ・スクールについて (2) 学校図書室について (3) 小中学校の暑さ対策について 2 災害対策 (1) 避難施設について 3 まちづくり (1) 西部西地区について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
5. 9. 11	8	牧 田 俊 之 (改革フォーラム)	1 スポーツ振興 (1) 全国高等学校総合体育大会について (2) とまこまいマラソンについて 2 ゼロカーボン (1) 水素について (2) 苫小牧周辺でのカーボンニュートラルの取組について 3 産業振興 (1) 半導体関連企業について
	9	志 方 光 徳 (新 緑)	1 今後の公共施設整備への影響 (1) 資機材不足、人材不足により公共施設整備や公共工事の遅れが予想されることについての市の考えについて (2) 公共施設整備計画の変更の必要性についての市の考えについて 2 未来に向けた新たな人材育成について 3 都市再生コンセプトプランについて 4 総合体育館について 5 今後の教育施設の在り方について 6 地域経済の活性化について 7 マイナンバー制度について
	10	山 田 隆 子 (新 緑)	1 保健医療行政 (1) 市民の健康づくり推進に向けた三者間による連携協定について 2 福祉行政 (1) 情報連携を活用した地域包括ケアシステムの実現について (2) 重層的支援体制整備について 3 教育行政 (1) 早期支援につながる窓口としての機能について 4 市政運営 (1) 企業進出を契機とした総合的な市政運営について
5. 9. 11	11	神 山 哲太郎 (公明党議員団)	1 教育行政 (1) 情報リテラシー教育について 2 子ども行政 (1) 児童相談所分室 ア 一時保護機能について (2) 里親制度 ア 制度の現状と課題について イ ショートステイ事業について 3 健康行政 (1) 带状疱疹ワクチンについて
	12	竹 田 秀 泰 (新 緑)	1 政治姿勢 (1) 各種大会の市民周知について (2) 高齢者介護について (3) 市営住宅整備計画について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(4) グリーン水素製造実証事業について 2 観光行政 (1) 樽前山登山について
	13	山 谷 芳 則 (新 緑)	1 教育行政 (1) 子どもたちの学力向上について 2 政治姿勢 (1) 公共施設の冷房設備について (2) ふるさと納税について 3 商工業の振興 (1) 海の駅ぶらっとみなと市場について
	14	森 本 健 太 (日本共産党市議団)	1 貧困対策 (1) 部活動に対する支援について 2 地域公共交通 (1) 沼ノ端駅のホームに屋根の設置とバリアフリー化について (2) 公共交通利用促進策について (3) 公共交通の支援策について
	15	橋 本 智 子 (民主クラブ)	1 R a p i d u s (1) 工場建設時の影響について (2) 操業後の工業用水について (3) 関連企業の立地について 2 苫小牧駅前の活用 (1) 旧サンプラザビルについて (2) J R のスルー化、連携について 3 環境行政 (1) ゼロカーボンについて 4 苫小牧港開港60周年について 5 学校給食について
	16	松 尾 省 勝 (民主クラブ)	1 介護事業所におけるBCP策定義務化について 2 認知症施策の推進について 3 とまこまい港まつりの運営について
	17	原 啓 司 (日本共産党市議団)	1 R a p i d u s について 2 医療における介護タクシーの利用について 3 燃料高騰対策について
5. 9. 12	18	松 井 雅 宏 (改革フォーラム)	1 地域公共交通について 2 漁業振興について 3 エゾシカ対策について 4 高丘第二霊園共同墓について 5 再生可能エネルギーについて
	19	大 西 厚 子 (公明党議員団)	1 健康行政 (1) H P V ワクチンについて (2) 子宮頸がん検診について 2 教育行政 (1) 不登校対策について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(2) 樽前小学校について 3 労働行政 (1) 女性デジタル人材の育成について 4 市庁舎の障がい者用駐車場について
	20	大 野 正 和 (公明党議員団)	1 まちづくり (1) 公園・遊歩道等のベンチについて 2 観光振興 (1) インフラツーリズムについて (2) 道の駅について 3 教育行政 (1) G I G Aスクールの課題、タブレットP C他機器の活用について (2) タブレットP C他機器の整備、今後の課題について
	21	富 岡 隆 (日本共産党市議団)	1 インボイス制度の問題について 2 福島第一原発事故で発生したアルプス処理水の海洋放出について 3 電気料金高騰対策と原発問題について
	22	佐々木 修 司 (民主クラブ)	1 こども家庭センターの設置について 2 市職員の確保について

【第4回定例会】

一般質問

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
5.12. 7	1	松 尾 省 勝 (民主クラブ)	1 岩倉市長の状況について 2 市長職を代理する副市長の権限と役割について 3 新年度予算編成について 4 日新町区域における、生活環境の整備充実について 5 自動運転バス実証事業の検証について 6 路線バスの車両更新について 7 路線バスへの乗車率向上に資する各種取組の効果と今後について
	2	牧 田 俊 之 (改革フォーラム)	1 政治姿勢 (1) 行政の継続性について 2 安全・安心 (1) 救急活動について 3 ゼロカーボン (1) 脱炭素先行地域選定について 4 産業振興 (1) 半導体産業について (2) データセンターについて
	3	原 啓 司 (日本共産党市議団)	1 R a p i d u s について 2 介護人材確保支援事業における委託料過請求について
	4	桜 井 忠	1 R a p i d u s

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
		(会派市民)	(1) 水の利用について 2 新型コロナ (1) 接種券などの送付について (2) 情報公開について (3) ワクチンの副反応について (4) 国際保健規則の改正について (5) 臨床医の活動と分析について
	5	金 澤 俊 (新 緑)	1 R a p i d u s 進出に伴うまちづくり (1) 都市計画の見直しについて (2) 交通インフラの整備について 2 観光政策 (1) M I R A I F E S T について (2) M I C E について (3) 観光インフラについて (4) 今後の観光政策の推進体制について 3 環境政策 (1) 苫小牧市のゼロカーボンの動向について (2) 脱炭素先行地域の選定について 4 子育て政策 (1) 今後の子育て戦略について (2) 子育て支援医療助成制度について 5 防災政策 (1) 苫小牧市防災まちづくり基本構想について
5.12. 8	6	池 田 謙 次 (公明党議員団)	1 予算 (1) 予算編成について 2 環境行政 (1) ゼロカーボンシティについて 3 防災行政 (1) 備えるフェスタについて (2) 津波避難施設について 4 福祉行政 (1) 福祉タクシーについて 5 教育行政 (1) 不登校セミナーについて (2) 学校給食の無償化について 6 観光行政 (1) ミライフエストについて (2) ぷらっとみなと市場について
	7	志 方 光 徳 (新 緑)	1 苫小牧駅前について 2 防災行政について
	8	首 藤 孝 治 (改革フォーラム)	1 税外収入について 2 市内タクシー事業について 3 苫東を含めた今後の企業誘致について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
	9	嶋 中 康 晴 (新 緑)	1 福祉行政 (1) 認知症予防、介護予防について 2 広報 (1) 市のプロモーションについて 3 まちづくり (1) 空き家対策について 4 行政改革 (1) 市職員の評価制度と人材育成について
	10	森 本 健 太 (日本共産党市議団)	1 総合戦略 (1) 移住定住促進と空き家活用について (2) とまっこアプリについて 2 鳥獣対策 (1) エゾシカとヒグマについて
	11	舩 沢 高 秀 (無 所 属)	1 健康行政 (1) 健康寿命について (2) 食は命の源について 2 災害対策行政 (1) 電力について (2) 運搬、動力源に関わる燃料の供給について (3) 備蓄について (4) 周知について
	12	小野寺 幸 恵 (日本共産党市議団)	1 子育ての経済的負担軽減 (1) 総合戦略と財政見通しについて (2) 教材費や学校給食の負担軽減について 2 平等社会の推進 (1) ジェンダーと多様な性の平等について 3 緑の基本計画の推進 (1) 明徳団地の樹木の伐採について 4 霊葬場の環境整備 (1) 今後の整備計画とエアコン設置について
5.12.11	13	橋 本 智 子 (民主クラブ)	1 環境行政 (1) 生物多様性地域戦略について (2) 樽前ガローについて (3) 野生鳥獣対策について (4) 脱炭素先行地域の取組について (5) R a p i d u s について 2 ヤングケアラーの支援について
	14	竹 田 秀 泰 (新 緑)	1 政治姿勢 (1) 市民文化ホールについて (2) 保育施設について (3) J F E リサイクルプラザについて (4) 鹿対策について 2 教育行政

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(1) 不登校について
	15	松 井 雅 宏 (改革フォーラム)	1 プラスチック資源循環促進法の対応について 2 捨て猫対策等と保護猫活動への支援について 3 市民会館の運営について 4 中学校部活動の地域移行について
	16	喜 多 新 二 (新 緑)	1 東部地域の流入人口促進と対応について 2 パブリックコメントの現状について 3 骨髄移植における意識醸成と推進について 4 歯と口腔衛生ケア事業について
	17	山 田 隆 子 (新 緑)	1 防災行政 (1) 市の防災訓練について (2) 防災講座について 2 子ども行政 (1) ヤングケアラー支援について 3 福祉行政 (1) 精神障がい者地域生活支援センターについて (2) 手話言語条例について
	18	神 山 哲太郎 (公明党議員団)	1 都市計画 (1) 都市計画マスタープラン ア 土地利用について イ 交通と道路計画について 2 市民生活 (1) 特定健診等 ア 受診率と医療費について イ 特定保健指導の強化等について ウ タダとく健診について エ 今後の展開について 3 学校教育 (1) 部活動の地域移行 ア 拠点校方式の課題等について イ クラブ化への課題等について
	19	谷 川 芳 一 (会派市民)	1 教育行政 (1) 学校管理運営について
	20	大 野 正 和 (公明党議員団)	1 福祉行政 (1) 公共施設におけるおむつ交換スペースの設置 ア 市民活動センターについて イ 日新温水プールについて ウ その他、市内公共施設全般について 2 こども・子育て行政 (1) こどもの遊び場について (2) こどもの居場所づくりについて 3 商業振興 (1) 市内商店街・商店会の活性化について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
5. 12. 12	21	大 西 厚 子 (公明党議員団)	1 健康行政 (1) 5歳児発達相談について (2) 5歳児健診について 2 防災対策 (1) 液体ミルクの備蓄について (2) ペットとの同行避難のハンドブックについて 3 まちづくり (1) 樽前地域における地域おこし協力隊の活用について 4 教育行政 (1) 不登校特例校について
	22	佐々木 修 司 (民主クラブ)	1 総合福祉会館等整備補助金について 2 市発注工事の週休2日制について
	23	小 山 征 三 (民主クラブ)	1 駅周辺再整備 (1) 旧サンブラザビルについて (2) 駅バスターミナルについて 2 地方創生地域コミュニティ活性化支援事業について 3 高丘霊葬場について 4 市立病院 (1) 紹介受診重点医療機関について (2) 市民サービスの向上について 5 消防行政 (1) 火災予防運動について (2) 違反対象物公表制度について (3) 東胆振消防指令業務共同運用について
	24	山 谷 芳 則 (新 緑)	1 公共交通 (1) 自動運転バス実証事業について 2 教育行政 (1) P T A連合会からの要望について (2) 教職員の働き方改革について

【第5回定例会】

代表質問

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
6. 2. 29	1	金 澤 俊 (新 緑)	1 政治姿勢 (1) 市長の今後のまちづくりに対する思いについて 2 基本政策 (1) 男女平等参画の推進について (2) 健全な行財政運営の推進 ア 今後の財政運営について イ 行政改革について ウ 自治体D Xについて エ 行政組織の活性化及び人材育成と管理について 3 重点施策

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(1) 子育て世代に手厚いまちとまこまいの実現 ア 4つの施策について イ こども家庭支援室の新設について ウ 待機児童の解消について エ 保育関連の諸課題について (2) ゼロカーボンシティの実現と産業競争力の強化 ア ゼロカーボンの推進について イ 企業誘致の推進について (3) 都市再生コンセプトプランの具現化 ア 駅周辺ビジョンの推進について 4 主要施策 (1) 共に支え合い健やかに暮らすまち ア 保健予防対策の充実について イ 医療体制の整備・充実について ウ 地域福祉の推進について エ 高齢者福祉の推進について オ 障がい者福祉の推進について カ 子ども・若者への育成支援について (2) 明日を拓く力みなぎる産業のまち ア 商業振興について イ 水産業の振興について ウ 観光の振興について エ 雇用・労働環境の整備・充実について オ 空港と港湾の整備と機能拡充について (3) 学ぶ喜びがあふれる文化の薫るまち ア 北洋大学について イ 市民スポーツの推進について ウ 多文化共生の推進について エ 国内都市間交流について (4) 自然と環境にやさしいまち ア 自然環境保全と鳥獣対策について イ 高丘霊葬場の整備について ウ ごみの減量とリサイクルの推進について (5) 安全・安心で快適に暮らすまち ア 居住環境の充実について イ 上下水道の整備・健全な維持管理について ウ 道路・橋梁他インフラの整備について エ 公共交通の充実について オ 消防・救急体制の充実について カ 防災について 5 教育行政執行方針 (1) 今後の教育行政の役割について (2) 学力向上について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(3) 多様な価値を尊重する豊かな心の育成について (4) 不登校児童生徒への支援の充実について (5) 学校段階間の連携・接続の推進について (6) 保護者の負担軽減について (7) コミュニティ・スクールについて (8) 部活動の地域移行について (9) 教育施設整備と規模適正化について (10) 科学センターについて (11) 文化振興について
	2	神 山 哲太郎 (公明党議員団)	1 市長の政治姿勢 (1) 市政への想い ア 信頼される市役所づくりについて イ 津波避難タワーの進捗状況について ウ 災害時の市外避難について (2) 時代認識 ア 感染症対策について イ 人材不足について (3) まちづくりの姿勢 ア 駅前の再整備について 2 基本政策 (1) 市民によるまちづくりの推進 ア 地域活動の促進について イ 市民自治の推進について ウ 男女平等参画について (2) 健全な行財政運営の推進 ア I C Tの推進とマイナンバーカードの普及について イ 職員の人材育成と働き方改革及び健康経営について 3 重点施策 (1) 子育て世代に手厚いまちとまこまいの実現 ア 医療費助成制度の拡充について イ 産婦健診、産後ケア事業について ウ 待機児童対策について (2) ゼロカーボンシティの実現と産業競争力の強化 ア ゼロカーボンシティへの達成計画について イ 市民への周知と取組について ウ 独自支援の考えについて (3) 都市再生コンセプトプランの具現化 ア M I C E誘致について イ スマートシティの推進について ウ とまこまい版M a a S構想について 4 主要施策 (1) 共に支え合い健やかに暮らすまち ア 保健予防対策の充実について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			イ 市立病院経営強化プランについて ウ 重層的支援体制整備事業について エ 訪問介護事業の状況について オ ヤングケアラー支援条例について (2) 明日を拓く力みなぎる産業のまち ア ぶらっとみなと市場の建て替えについて イ 今後の中小規模事業者への支援について ウ 水産物の支援について エ 林業におけるゼロカーボン施策について オ 体験型観光について カ 外国人の雇用状況について キ 公共工事における人材不足の影響について ク 統合型リゾート（ＩＲ）について ケ 港湾のゼロカーボンについて (3) 学ぶ喜びがあふれる文化の薫るまち ア 北洋大学と地元就職について イ 総合体育館の今後について (4) 自然と環境にやさしいまち ア 鹿・ヒグマ対策について イ 戸別収集について (5) 安全・安心で快適に暮らすまち ア 勇の原公園について イ 上下水道料金とゼロカーボンについて ウ 自転車用ヘルメットについて 5 教育行政執行方針 (1) 学校給食の無償化について (2) 多様な価値を尊重する豊かな心の育成 ア いじめについて (3) 特別支援教育の充実 ア 高等支援・養護学校の設置について (4) 不登校児童生徒への支援の充実について (5) 学校と地域の連携・協働の推進 ア 部活動の地域移行について (6) 主体的に生涯学習を続け、郷土の発展を支えるひとづくり ア 学校図書と読書促進について イ 科学センターの移転改築等について
6. 3. 1	3	小 山 征 三 (民主クラブ)	1 政治姿勢 (1) 今後の市政運営について (2) 平和の鐘について (3) 有権者の政治不信について (4) 税の公平性について (5) 駅周辺ビジョンについて 2 市民自治

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(1) まちかどミーティングについて (2) 町内会・自治会加入促進について (3) 各種委員の推薦について (4) 空き家対策について 3 苫小牧市民文化ホール整備事業について 4 防災対策 (1) 震災対策について (2) 防災アセスメント調査について 5 環境行政 (1) ゼロカーボンシティの実現について (2) 戸別収集について (3) 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用について 6 地方創生地域コミュニティ活性化支援事業について 7 企業誘致活動について 8 消防行政 (1) 消防指令業務共同運用について (2) 救急体制について 9 こども・子育て支援 (1) こども未来戦略について (2) 人材確保について 10 行政組織 (1) 働き方改革について (2) 定数管理について
	4	牧 田 俊 之 (改革フォーラム)	1 政治姿勢 (1) まちづくり ア 中心市街地について イ e g a oビルについて ウ J Rアクセスについて (2) ゼロカーボンシティ ア 水素ステーションについて イ カーボンニュートラルポートについて (3) 産業拠点都市 ア 半導体関連産業について (4) 財政基盤強化 ア 観光税について イ 債券運用について 2 基本政策 (1) ウェルビーイング経営について 3 重点施策 (1) 子育て支援 ア 子どもの医療費助成制度について イ 医療的ケア児相談室について ウ 5歳児健診について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(2) 苫小牧水産物の魅力発信について (3) スポーツ推進 ア スケートボードについて イ 総合体育館について (4) エゾシカ対策について (5) 家庭ごみ戸別収集について (6) 公共交通について (7) 新紙幣発行について 4 教育行政 (1) 教育長の任命について (2) 部活動地域移行について (3) 中学校図書館司書配置について (4) これからの時代に求められる資質・能力の育成について (5) 学校ウェルビーイングについて
6. 3. 4	5	小野寺 幸 恵 (日本共産党市議団)	1 政治姿勢 (1) 政治資金パーティーについて (2) 新年度予算について (3) 物価高騰などの取組について (4) 災害対策について (5) 原発と核のごみについて (6) 人口減少対策と子育て支援 ア 人口減少の認識と取組について イ 子育て支援医療助成事業について ウ 保育士の配置基準について (7) 医療・介護などの充実 ア 第9期介護保険事業計画と人材確保について イ 本市の医療の現状と見通しについて ウ 新型コロナウイルスについて (8) 平和事業 ア 非核平和都市条例の取組について イ 苫小牧港の特定重要拠点化について (9) 駅周辺ビジョンについて (10) I R誘致について (11) ラピダスについて (12) 行政改革と行政組織 ア 地方自治体情報システムの標準化・共通化について イ ウェルビーイング経営について ウ マイナンバーカードについて (13) 脱炭素の取組の課題 ア C C Sについて イ (仮称) 苫東厚真風力発電事業について (14) 平等社会の実現 ア ジェンダー平等と多様な性の尊重について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			イ 学校での出前授業について 2 教育行政執行方針 (1) 教育長の呼びかけについて
	6	桜 井 忠 (会派市民)	1 市長の政治姿勢 (1) 市長の進退について (2) 苫小牧市の人口について (3) 安全・安心なまちづくりについて 2 経済政策 (1) R a p i d u s について (2) 新千歳空港について (3) C C S 事業について (4) 苫小牧港 ア 物流業界の時間外規制について イ アジアへの海産物輸出について (5) 観光客誘致 ア クルーズ船誘致について イ 食の観光について ウ ホテルの誘致について (6) 駅周辺の開発について (7) 都市計画について (8) 市内産業の人材・資材不足 ア 人材不足解消について イ 外国人労働者の受入れについて ウ 資材不足について 3 健康行政 (1) 新型コロナワクチンについて 4 環境行政 (1) ウトナイ湖の周辺開発について (2) 霊葬場の利用数について 5 消防行政 (1) 東胆振消防指令業務共同運用について (2) 救急出動の増加について 6 福祉行政 (1) 人材について 7 苫小牧市立病院 (1) コロナ以後の病院経営について (2) 救急医療体制について 8 教育行政 (1) 小・中学生の携帯電話について (2) R a p i d u s への人材供給について (3) 教職員の休職などについて

(12) 陳情処理状況

No.	受理年月日	件 名	提 出 者	付託年月日	議決年月日
1	5. 4. 26	次期苫小牧市長選挙と苫小牧市議会議員選挙を同一日とすることを求める陳情 ○第2回定例会 陳情第1号	杉野 啓志	5. 6. 22 (議会運営)	5. 12. 7 (不採択)
2	5. 6. 12	特定商取引法の平成28年改正における5年後見直しに基づく抜本的改正を求める要望意見書提出に関する陳情 ○第2回定例会 陳情第2号	苫小牧消費者協会 会長 山内 幸子	5. 6. 22 (厚生)	5. 6. 30 (採 択)
3	5. 8. 25	苫小牧市の公共施設におけるおむつ交換スペースの設置に関する陳情 ○第3回定例会 陳情第1号	特定非営利活動法人にわとりクラブ苫小牧支部 理事長 高橋 義男	5. 9. 7 (厚生)	5. 9. 15 (採 択)
4	5. 11. 17	福島第一原発のALPS処理水の海洋放出を直ちに中止し、処理水減容の抜本的対策を求めることを国に求める要望意見書提出に関する陳情 ○第4回定例会 陳情第1号	脱原発・自然エネルギーをすすめる苫小牧の会 代表 伊藤 富志男 同 佐藤 昭子 同 宮崎 有広	5. 12. 7 (文教経済)	5. 12. 15 (不採択)
5	6. 2. 2	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の引上げを求める要望意見書提出に関する陳情 ○第5回定例会 陳情第1号	全日本年金者組合苫小牧支部 支部長 斉藤 秀夫	6. 2. 22 (厚生)	6. 3. 15 (採 択)

(13) 意見書提出状況

No.	件 名	議決年月日	提 出 先	備考
1	特定商取引法の平成28年改正における5年後見直しに基づく抜本的改正を求める要望意見書 ○第2回定例会 意見書案第1号	5. 6. 30	内閣総理大臣、衆議院・参議院各議長	
2	地方財政の充実・強化に関する要望意見書 ○第2回定例会 意見書案第2号	同 上	内閣総理・総務・財務大臣、衆議院・参議院各議長	
3	2023年度北海道最低賃金改正等に関する要望意見書 ○第2回定例会 意見書案第3号	同 上	北海道労働局長、北海道最低賃金審議会会長	
4	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実強化を求める要望意見書 ○第2回定例会 意見書案第4号	同 上	内閣総理・財務・総務・農林水産・経済産業・国土交通・環境大臣、衆議院・参議院各議長	
5	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める要望意見書 ○第2回定例会 意見書案第5号	同 上	内閣総理・総務・財務・文部科学大臣	
6	学校給食の無償化を求める要望意見書 ○第2回定例会 意見書案第6号	同 上	内閣総理・文部科学・財務大臣	
7	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書 ○第3回定例会 意見書案第1号	5. 9. 15	内閣総理・総務・財務・国土交通、国土強靱化担当大臣、衆議院・参議院各議長	
8	ブラッドパッチ療法に対する適正な診療上の評価等を求める要望意見書 ○第3回定例会 意見書案第2号	同 上	内閣総理・厚生労働大臣、衆議院・参議院各議長	
9	北海道における小中学校への冷房設備の設置に対する財政措置を求める要望意見書 ○第3回定例会 意見書案第3号	同 上	総務・文部科学・財務大臣	
10	認知症との共生社会の実現を求める要望意見書 ○第4回定例会 意見書案第1号	5. 12. 15	内閣総理・厚生労働大臣、衆議院・参議院各議長	
11	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の引上げを求める要望意見書 ○第5回定例会 意見書案第1号	6. 3. 15	内閣総理・厚生労働・財務大臣、衆議院・参議院各議長	
12	医薬品の安定供給確保並びにイノベーション推進を求める要望意見書 ○第5回定例会 意見書案第2号	同 上	内閣総理・厚生労働・財務大臣、衆議院・参議院各議長	
13	若者のオーバードーズ防止対策の強化を求める要望意見書 ○第5回定例会 意見書案第3号	同 上	内閣総理・厚生労働大臣	
14	生涯を通じた歯科健診の実現を求める要望意見書 ○第5回定例会 意見書案第4号	同 上	内閣総理・厚生労働・財務大臣	

特定商取引法の平成28年改正における 5年後見直しに基づく抜本的改正を求める要望意見書

特定商取引法（以下、特商法という。）の平成28年改正法の附則に定められた、いわゆる5年後見直しの時期が、令和4年12月に経過しました。

令和4年版消費者白書によると、消費生活相談は85万2,000件で、特商法の対象分野の相談は全体の約55%という高い比率を占めています。とりわけ訪問販売、電話勧誘販売の割合は、認知症等の高齢者の消費者トラブルの中で48.6%と多数を占めています。このことから、超高齢社会において判断力の衰えた高齢者が悪質商法のターゲットにされていることがうかがわれ、早急な対応が必要です。

また世代全体で見ると、インターネット通販に関する相談が27.4%と最多となっており、デジタル社会の進展、さらにはコロナ禍の影響もあって、インターネット通販におけるトラブルが増加していることが見てとれます。この傾向はデジタル社会のさらなる進展とともに、今後さらに強まると思われます。

他方、マルチ取引については毎年約9,000件から10,000件程度と無視できない件数で推移していますが、その半数近くが20歳代となっています。今後は、令和4年4月の成年年齢引下げに伴い、18歳から19歳を狙ったマルチ取引被害の増加が予想されます。

よって、国及び関係機関におかれましては、これらの被害に対処するため下記の事項について、特商法の改正を行うために消費者庁に検討会を設置し、早急に検討を進めるよう要望いたします。

記

- 1 訪問販売や電話勧誘販売について、事前拒否者に対する勧誘を禁止する制度を導入すること。
- 2 SNS等を通じた勧誘を伴うインターネット通販について、クーリングオフや勧誘規制等電話勧誘販売と同レベルの規制を導入するとともに、SNS事業者等に対し、消費者トラブル発生時における通信販売業者、勧誘者に関する情報の開示を義務づけること。
- 3 マルチ取引について、国による登録、確認等の開業規制を導入するとともに、被害の予防、救済のための規制を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長

地方財政の充実・強化に関する要望意見書

今、地方自治体には、急激な少子高齢化に伴う、医療、介護など社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、デジタル化、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる役割が求められています。

このため、2024年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、歳入、歳出を的確に見積り、地方財政の確立を目指すよう、下記の事項の実現を求めます。

記

- 1 社会保障の維持・確保、人への投資も含めた地域活性化、デジタル化、脱炭素化、防災、減災、物価高騰対策、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、十分な地方一般財源総額の確保を図ること。
- 2 今後一層求められる子育て施策、また地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫することから、地方単独事業分も含め、十分な社会保障経費の拡充を図ること。特に、これらの分野を支える人材確保に向けた自治体の取組を十分に支える財政措置を講じること。
- 3 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正に向けては、所得税や偏在性がより小さい消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
- 4 引き続きの新型コロナウイルス感染症対策として、5類移行後におけるワクチン接種体制や保健所も含めた医療提供体制について、自治体での混乱が生じることのないよう、十分な財政措置やより速やかな情報提供などを行うこと。
- 5 まち・ひと・しごと創生事業費の1兆円については、新たに地方創生推進費として2023年度も確保されているが、持続可能な地域社会の維持・発展に向けて、より恒久的な財源とすること。
- 6 会計年度任用職員制度の運用については、2024年度から可能となる勤勉手当の支給も含め、今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、その財政需要を十分に満たすこと。
- 7 特別交付税の配分に当たり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。
- 8 デジタル化における自治体業務システムの標準化については、引き続き地域デジタル社会推進費に相当する財源を確保するなど、十分な財源を保障すること。
- 9 森林環境譲与税については、より林業需要を見込める自治体への譲与額を増大させるよう、人口による配分を3割とする現行の譲与基準を見直すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長

2023年度北海道最低賃金改正等に関する要望意見書

道内で働く者の暮らしはコロナ禍で一層厳しく、特に、年収200万円以下の労働者は、道内でも46.7万人と、給与所得者の24.3%に達しています。また、道内の常用労働者216万人（内パート労働者64.7万人）のうち、45万人を超える労働者が最低賃金近傍に張り付いている実態にあります。

労働基準法第2条では、労働条件の決定は労使が対等な立場で行うものと定めていますが、現状では最低賃金の影響を受けるこれら多くの非正規労働者は、労働条件決定にほとんど関与することができません。

経済財政運営と改革の基本方針2022において、できる限り早期に全国加重平均が1,000円になることを目指すことが堅持され、令和4年度北海道地方最低賃金審議会の答申書においても、同様の内容を表記しました。

最低賃金が上がらなければ、その近傍で働く多くの方の生活はより一層厳しいものとなり、近年の物価上昇による個人の消費行動にも影響を与え、北海道経済の停滞を招くことにつながりかねません。

よって、北海道労働局及び北海道地方最低賃金審議会におかれましては、令和5年度の北海道最低賃金の改正に当たって、下記の事項について措置を講ずるよう強く要望いたします。

記

- 1 地域間格差にも配慮しながら、できる限り早期に全国加重平均1,000円になることを目指すことが堅持された経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）を十分尊重し、経済の自律的成長の実現に向けて、最低賃金を大幅に引き上げること。
- 2 賃上げの原資確保のため、公正取引を促すパートナーシップ構築宣言の宣言企業拡大を進めると同時に、厚生労働省の業務改善助成金など各種助成金の利用を促進し、中小企業に対する賃上げしやすい環境整備、支援の充実と安定した経営を可能とする実効ある対策を図るよう国に対し要請すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 北海道労働局長、北海道地方最低賃金審議会会長

ゼロカーボン北海道の実現に資する 森林・林業・木材産業施策の充実強化を求める要望意見書

北海道の森林は全国の森林面積のおよそ4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、森林資源の循環利用を進める必要があります。全国一の森林資源を有する北海道が2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする国の目標の達成に向けて、伐採後の着実な植林による森林の若返りや長期間炭素を固定する木材利用の促進、化石燃料の代替となる木質バイオマスのエネルギー利用の促進など森林吸収源対策を積極的に推進する責務を担うことが必要です。北海道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用に向け、森林整備事業や治山事業など国の事業を活用し、植林間伐や路網の整備、優良種苗の安定供給、山地災害の防止、木造公共施設の整備、森林づくりを担う人材の育成など、様々な取組を進めてきたところです。北海道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会を形成するため、活力ある森林づくりや道産木材の利用、防災・減災対策をさらに進め、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実強化を図ることが必要です。よって、国におかれましては、次の措置を講ずるよう強く要望します。

記

- 1 二酸化炭素の吸収など森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
- 2 森林資源の循環利用を推進するため、成長が早く形質の優れたクリーンラーチなどの優良種苗の安定供給、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材生産流通体制の強化、建築物の木造木質化や、木質バイオマスエネルギーの利用促進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実強化すること。
- 3 森林吸収源対策のさらなる推進に向け、森林の多い市町村において必要な森林整備がより一層進むよう、森林環境譲与税の譲与基準を見直すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める要望意見書

文部科学省の学校基本調査によりますと、特別支援教育を受ける児童生徒は年々増加しており、10年間で、特別支援学校については学校数が約11%増加、児童生徒数は約14.3%増加、特別支援学級は1.6倍に増え児童生徒数は2.1倍に増加しています。また、通級による指導を受けている児童生徒数は約2.6倍に増え、教育現場では新たな特別支援教育体制の整備が必要になっています。

このような状況に適切に対処するためには、特別支援学校・学級への専門的な知識や経験を持った教員等の増員が必要不可欠です。また今日、共生社会の形成に向けて、障害者の権利に関する条約に基づき、子どもたちの多様性を尊重するインクルーシブ教育システムの構築が求められており、そのためにも我が国の特別支援教育のさらなる拡充が必要です。

よって、国におかれましては、医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子どもの増加や、様々な障がいのある児童生徒に的確に対応した教育を実現するために、特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置に向けて、以下の事項について財政措置を含めた特段の措置を講じることを求めます。

記

- 1 障がいのある児童生徒に対し、食事、排せつ、教室移動の補助等学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障がいの児童生徒に対し、学習活動上のサポート等を行う特別支援教育支援員の適切な配置への支援を行うこと。
- 2 保護者や関係機関に対する学校の窓口として、また、学校内の関係者や福祉・医療等の関係機関との連絡調整の役割を担い、子どもたちのニーズに合わせた支援をサポートする特別支援教育コーディネーターの適切な配置への支援を行うこと。
- 3 医療的ケアが必要な子どもや、障がいのある子どもへの支援を的確に実施するために、看護師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士等の専門家の必要に応じた適切な配置への支援を行うこと。
- 4 各学校でインクルーシブ教育を一体的に進めるために、担当の教員だけでなく学校長等に対する指導や研修等を実施し、校内全体での取組を促進するために、特別支援学校のセンター的機能強化への支援を行うこと。
- 5 特別支援学校における教育の質の向上の観点から、教職員への特別支援学校教諭免許状取得支援の強化や、大学等における特別支援教育に関する科目の修得促進等、教職員に対する特別支援学校教諭免許状の取得への支援、併せて、特別免許状についても強力的に推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫小牧市議会

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

学校給食の無償化を求める要望意見書

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資し、児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たしています。

全国では、２０２１年５月現在で、小学校では９９．７％、中学校では９８．２％の公立学校において学校給食を実施しており、学校給食の重要性を示すものです。

こうした中、政府が公表したこども・子育て政策の強化について（試案）において、学校給食の無償化に向けて、給食実施率や保護者負担軽減等の実態を把握しつつ、課題の整理を行うことが示されました。

昨今の物価高騰などによって家計が圧迫される中、家庭の経済状況にかかわらず、全ての子どもたちに食の安全・安心や栄養バランスの取れた良質な給食を提供することは、心身の健やかな成長に欠かせないものであり、国が進める子育て支援や子どもの貧困対策にも大きく寄与するものであります。

全道では、２０２２年５月１日現在で、学校給食の無償化を実施している自治体が４０市町村あるものの、財政状況の厳しさから無償化の実施や継続が困難な自治体も少なくありません。

よって、国におかれましては、学校給食の段階的な無償化を実現するよう強く求めます。

以上、地方自治法第９９条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書

近年、社会資本整備を取り巻く環境は、激甚化、頻発化する自然災害や日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等のリスクの増大のほか、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に更新時期を迎えるなど様々な課題を抱えており、適切な対応をしなければ国民負担の増大のみならず、社会経済システムが機能不全に陥るおそれがあります。

平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震では、本市において観測史上初めてとなる、最大震度5強を観測し、道路や港湾など公共施設の被害や大規模停電の発生により、市民生活と地域経済に大きな影響が生じました。

これらの経験から得られた教訓を生かしながら、老朽化した都市基盤の更新を進め、市民の生命・財産・暮らしを守り、誰もが安全・安心と思えるまちづくりの確立に向け、防災・減災、国土強靱化に資する社会資本の整備を図ることが必要です。

こうした中、地方財政は依然として厳しい状況にあることから、国と地方の適切な役割分担のもと、防災・減災、国土強靱化に必要な予算を安定的かつ継続的に確保することが重要です。

よって、国におかれましては、次の措置を講ずるよう強く要望します。

記

- 1 国土強靱化に資する社会資本の整備・管理が長期安定的に進められるよう、公共事業関係予算の所要額を確保するとともに、地域の実態に鑑み予算を重点配分すること。
- 2 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を計画的に進めるために必要な予算・財源を例年以上の規模で確保するとともに、5か年加速化対策期間完了後も、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況を踏まえ、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保し継続的に取り組むこと。
- 3 維持管理に活用可能な交付金制度を創設するとともに、全ての管理施設の点検や診断、補修、更新が交付対象となるよう採択要件を緩和するなど、地方負担の軽減を図ること。
- 4 冬期における円滑な交通確保のため、除排雪に必要な予算を確保するとともに、老朽化が進行している除雪機械等の計画的な更新・増強が可能となるよう財政支援を強化すること。
- 5 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、
国土強靱化担当大臣、衆議院議長、参議院議長

ブラッドパッチ療法に対する適正な診療上の評価等を求める要望意見書

交通事故、スポーツ、落下事故、暴力など全身への外傷等を原因として発症する脳脊髄液減少症によって、日常生活を大きく阻害する様々な症状に苦しんでいる患者の声が全国各地から国へ数多く寄せられ、平成１８年に山形大学を中心に関連８学会が参加し、厚生労働省研究班による病態の解明が進んだ結果、平成２８年より同症の治療法であるブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）が保険適用となりました。

その結果、それまで高額な自費診療での治療を必要としていた患者が、保険診療のもとでブラッドパッチ療法を受けることができるようになりましたが、脳脊髄液減少症の患者の中には、保険適用Ｊ００７－２の要件に掲げられている、起立性頭痛を有する患者に係る者という条件を伴わない患者がいるため、医療の現場では混乱が生じている現状です。

また、その後の研究で、脳脊髄液の漏出部位は１か所とは限らず、頸椎や胸椎部でも頻繁に起こることが報告され、頸椎や胸椎部にブラッドパッチ療法を安全に行うためにはＸ線透視下で漏出部位を確認しながらの治療が必要ですが、診療上の評価がされていない現状があります。

よって国におかれましては、上記の新たな現状を踏まえ、脳脊髄液減少症の患者への、公平で安全なブラッドパッチ療法の適用に向け、下記の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望します。

記

- 1 脳脊髄液減少症の症状において、約１０％は起立性頭痛を認めないと公的な研究でも報告があることを受け、算定の要件の注釈として、本疾患では起立性頭痛を認めない場合があると加えること。
- 2 ブラッドパッチ療法の診療報酬において、Ｘ線透視を要件として、漏出部位を確認しながら治療を行うことを可能にするよう、診療上の評価を改定すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

北海道における小中学校への冷房設備の 設置に対する財政措置を求める要望意見書

近年、地球温暖化等の影響により、全国的に夏の暑さが非常に厳しくなっており、北海道においても今までに体験したことのない日が続く状況です。子どもたちが学習する普通教室では30度の暑さに達することもあり、学習意欲や集中力が低下するだけでなく、児童・生徒・教職員の健康面にも多大な影響を及ぼしています。

このような中、児童・生徒の学習環境の整備や健康面の対策として、本市では来年夏までに市内全小中学校の普通教室にスポットクーラーを配備する計画を進める状況ですが、地方自治体では、財政状況を鑑みると冷房設備の設置についてちゅうちょせざるを得ない状況です。北海道の小中学校の普通教室の冷房設備の普及率は16.5%と、全国の95.7%から大きく離れており、気候の急激な変動を想定すると北海道全体への早期普及が望まれます。

学校保健安全法に基づく文部科学省告示の学校環境衛生基準には、教室内の気温は18度以上、28度以下であることが望ましいとされており、この基準に照らせば、特に義務教育の過程において、教育環境に格差が生じることはあってはならず、教育環境の改善は喫緊の課題であり、早急な対応が求められます。

よって、国におかれましては、北海道における小中学校への冷房設備の導入が着実に進められるよう、学校施設環境改善交付金の予算規模の大幅な増額等、財政措置を講じるよう、強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣

認知症との共生社会の実現を求める要望意見書

認知症の高齢者が2025年には約700万人になると想定されている現実に対して、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進するための、共生社会の実現を推進する認知症基本法が先の国会で成立しました。

今こそ、認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会（共生社会）の実現に向かって、認知症施策を国と地方が一体となって進めていくときであると考えます。

目指す共生社会とは、誰もが認知症になる可能性がある中で、生活上の困難が生じた場合でも、重症化を予防しつつ持てる力を生かしながら、周囲や地域の理解と協力の下、本人が希望を持って地域の中で尊厳が守られ、自分らしく暮らし続けることができる社会であります。よって、国及び関係機関におかれましては、認知症との共生社会の実現に必要な予算措置も含め、行政の体制を一層強化させ、一刻も早い認知症との共生社会を、各地域で実現するよう下記の事項について強く求めます。

記

- 1 地方自治体における都道府県認知症施策推進計画・市町村認知症施策推進計画の策定において、今までの延長ではなく、共生社会の実現に向けた統合的かつ連続的な計画の策定を可能にする専門人材の派遣など、適切な支援を行うこと。また、各自治体が主体的に実効性の高い施策を自在に展開するために、自由度の高い事業展開と予算措置の在り方を検討するなど地方自治体への支援の強化を図ること。
- 2 若年性認知症の人、その他の認知症の方々の就労や社会参画を支える体制整備を進めるとともに、働きたい認知症の人の相談体制を充実し、認知症と診断されても、本人の状態に応じて、社会の一員として安心して生活できる社会環境を整備するなど認知症の人の働きたいというニーズをかなえる労働環境の整備をすること。
- 3 独居や高齢者のみ世帯が急増する中で、一つの事業所で相談から訪問介護、通所、ショートステイまで、一人一人の状態の変化に応じて継続的に対応できるオールインワンの介護保険サービスを24時間365日提供する小規模多機能型居宅介護サービス事業について、見守り体制の整備も含めて支援体制を拡充すること。
- 4 身寄りのない方を含め、認知症になったとしても、その状態に応じて、安全に安心して生活ができる社会環境の構築に向け、一人一人の意思を最大限に尊重し総体的かつ柔軟に寄り添い支える、成年後見制度や身元保証等の在り方について現状の課題を整理し検討を進めること。また、住まいに課題を抱える方々に対する総合的な相談対応、一貫した支援を行う実施体制を整備すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引上げを求める要望意見書

厚生労働省は、２０１３年以来１１年間で物価が８．１％上昇する中、年金支給率は０．８％の上昇で差引き７．３％を減額する改定を行いました。２０２３年度も物価上昇２．５％の中、年金は１．９％の引上げにとどまり実質０．６％の削減となりました。

この間に消費税が５％から１０％に引き上げられ、一部の後期高齢者医療費窓口負担が２割に増え、介護保険料の引上げが年金減額改定の中、実施されました。

物価上昇が高齢者の家計を圧迫し、食費さえ切り詰め、北海道では暖房費を節約するため寒い部屋で過ごしている高齢者も少なくありません。そのため、年金だけでは生活を支え切れず、生活保護に移行する例が増えており、生活保護世帯全体の５５．４％を高齢者が占めるまでに至っています。特に深刻なことは女性の低年金です。女性の年金生活者の８５．２％が月額１０万円以下で生活しています。

さらに厚生労働省は基礎年金が今後３０年で約３０％減額される計画であると試算しています。もしそうになると現役世代の年金が将来、大幅に減額されることになり現在の若者にとっても大きな問題となります。

１８歳の若者への意識調査によれば、年金制度の維持が難しくなっていると答えた若者が半数近くに上り、半数以上の若者が現在の年金制度について改革が必要であると回答するなど若者が年金制度に不安を持っていることが明らかになっています。

よって、貴市議会におかれましては、当面、高齢者の危機的状況を早急に改善するために、そして高齢者も若者も安心して老後を暮らせるよう下記の事項について、国及び関係機関に対して要望いたします。

記

- １ 高齢者も若者も安心して老後を暮らせるように、物価上昇に見合う老齢基礎年金等の支給額を引き上げること。

以上、地方自治法第９９条の規定により、意見書を提出する。

苫小牧市議会

【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長

医薬品の安定供給確保並びにイノベーション推進を求める要望意見書

一部メーカーの製造管理及び品質管理の不正問題に端を発する医薬品や医療材料の供給不安は、需給の逼迫に加え、政府の頻繁な薬価引下げや昨今の原材料価格の高騰に伴うメーカーの採算悪化によって、実に３年以上にわたって継続しています。

この間、医療機関や薬局においては、医薬品の入手が極めて困難となっており、一部では必要な薬が患者に届かない事態を招くなど、国民の命と健康に影響を及ぼしかねない事態が続いており、我が国のイノベーション創出力の低下も明らかとなっています。

こういった事態を踏まえ、国では供給不足の医薬品を早期に安定供給できるようメーカーへの増産要請を行うなど、様々な対応を講じていますが、依然として深刻な状態が継続しています。

現下の供給不安を一刻も早く解消し、かつ将来にわたって、国民に医薬品や医療材料を安定的に供給し、かつイノベーション創出を促すためには、現行制度の見直しを図る必要があります。

よって、国及び関係機関におかれましては、患者負担増につながらない方法で中間年改定の廃止を含めた薬価制度の抜本的見直し、さらには医薬品の安定供給に取り組む製薬メーカーが、市場で評価される仕組みの導入や、生産力増強への支援の充実など、流通改善の取組推進を強く要望いたします。

苦 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長

若者のオーバードーズ防止対策の強化を求める要望意見書

近年、処方箋がなくても薬局やドラッグストアで購入できる市販薬の乱用・依存や急性中毒が、重大な社会問題となりつつあります。実際、市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）による救急搬送が、２０１８年から２０２０年にかけて２．３倍に増加したという報告や、精神科医療施設を受診する患者において、市販薬を主たる薬物とする薬物依存患者が、２０１２年から２０２０年にかけて約６倍に増加したという報告があります。

国立精神・神経医療研究センターの２０２０年調査では、全国の精神科医療施設で薬物依存症の治療を受けた１０代の患者の主な薬物において、市販薬が全体の５６．４％を占めており、過去１年以内に市販薬の乱用経験がある高校生の割合は６０人に１人と深刻な状況にあることも明らかになりました。

不安や葛藤、憂鬱な気分を和らげたいなど、精神的苦痛の緩和のために、若者がオーバードーズに陥るケースが多く、過剰な摂取を繰り返すことで、肝機能障害、重篤な意識障害や呼吸不全などの誘発や、心肺停止で死亡する事例も発生しています。

市販薬は違法薬物とは違い、所持することで罪にはならないことから、乱用が発見されにくいという現実があると同時に、オーバードーズによる健康被害は、違法薬物よりも深刻になる場合があります。

よって国におかれましては、このような薬物依存による健康被害から一人でも多くの若者を守るために、下記の事項の特段の取組を要望します。

記

- １ 現在、乱用等のおそれがある医薬品の６成分を含む市販薬を販売する際、購入者が子ども（高校生・中学生等）である場合は、その氏名や年齢、使用状況等を確認することになっているが、その際、副作用などの説明を必須とすること。
- ２ 若者への薬剤の販売において、その含有成分に応じて販売する容量を適切に制限すると同時に、対面かオンライン通話での販売を義務づけ、副作用などの説明と合わせて、必要に応じて適切な相談窓口等を紹介できる体制を整えること。
- ３ 乱用のおそれがある薬の指定を的確に進めると同時に、身分証による本人確認のほか、繰り返しの購入による過剰摂取を防止するために、販売記録等が確認できる環境の整備を検討すること。
- ４ 若者のオーバードーズには、社会的孤立や生きづらさが背景にあるため、オーバードーズを孤独・孤立の問題として位置づけ、若者の居場所づくり等の施策を推進すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣

生涯を通じた歯科健診の実現を求める要望意見書

現在、我が国では、乳幼児に対する母子保健法に基づく歯科健診や小学校、中学校、高等学校等の児童・生徒に対する学校保健安全法に基づく歯科健診等は実施が義務づけられているものの、40歳、50歳、60歳、70歳の者に対する健康増進法に基づく歯周疾患検診や、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく後期高齢者歯科健診などは、義務づけがされておらず、成人期以降の受診体制は十分とは言えない状況にあります。

近年、歯と口腔の健康は、生活習慣病の予防に資するなど、全身の健康を保持・増進するための重要な要素であることが明らかになっており、人生100年時代を迎える中で健康寿命を延ばすためには、歯と口腔の健康維持が極めて重要であり、そのためにはライフステージに応じた切れ目のない歯科健診の受診の確保が必要であります。

こうした中、令和4年6月7日に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針2022において、生涯を通じた歯科健診、いわゆる国民皆歯科健診の具体的な検討を行うことが、初めて盛り込まれたことにより、生涯を通じて国民が定期的に歯科健診を受診し、健康寿命の延伸に向けた取組が進むことが期待されます。

よって、国におかれましては、歯科口腔保健の推進に関する法律の改正などにより、生涯を通じた歯科健診の法制化を早急に進めるとともに、下記の事項について措置を講ずるよう強く要望いたします。

記

- 1 いわゆる国民皆歯科健診の制度設計等に関する具体的な検討を進めるに当たっては、地方自治体をはじめ関係者の意見を十分に反映させること。
- 2 いわゆる国民皆歯科健診の実施に関しては、国において十分な財政措置を講ずること。
- 3 いわゆる国民皆歯科健診の実現と合わせて、国民に対して歯と口腔の健康づくり及び歯科健診の重要性についての啓発や健診受診後の定期的な歯科受診の勧奨を行うなど、歯科疾患の発症や再発、重症化予防のため、ひいては、全身の健康につながるよう、総合的な取組を推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣

(14) 決議提出状況

No.	件 名	議決年月日	提 出 先	備考
1	総合開発特別委員会設置に関する決議 ○第1回臨時会 決議案第1号	5. 5. 17	_____	
2	安全・安心及び市民文化ホールに関する特別委員会設置 に関する決議 ○第1回臨時会 決議案第2号	5. 5. 17	_____	
3	イスラエルとハマスの即時停戦を求める決議 ○第4回定例会 決議案第1号	5. 12. 15	_____	

総合開発特別委員会設置に関する決議

- 1 本市議会に総合開発特別委員会を設置し、13人をもって構成する。
- 2 本特別委員会の所管事項は、次のとおりとする。
 - (1) 工業開発の促進及び苫小牧港整備促進について
 - (2) 企業及びリサイクル産業施設等の立地促進並びにこれに伴う公害の防止について
 - (3) 東部開発に伴う財政特別措置について
 - (4) 空港周辺対策について
 - (5) 広域行政について
 - (6) ゼロカーボンについて
 - (7) 統合型リゾート（IR）について
 - (8) 自衛隊の訓練（災害訓練を除く。）等の国防に関することについて
 - (9) 都市再生コンセプトプランについて（個別の事業を除く。）
- 3 本特別委員会に要する経費は、その都度議会の承認を得るものとする。
- 4 本特別委員会は、議会の閉会中も審査を行うことができるものとし、議会が審査終了を議決するまで継続する。

以上、決議する。

苫 小 牧 市 議 会

安全・安心及び市民文化ホールに関する特別委員会設置に関する決議

- 1 本市議会に安全・安心及び市民文化ホールに関する特別委員会を設置し、13人をもって構成する。
- 2 本特別委員会の所管事項は、次のとおりとする。
 - (1) 防災に関する事項について
 - (2) 危機管理に関する事項について
 - (3) 市民文化ホールに関する事項について
 - (4) その他市民の安全・安心に関する事項について
- 3 本特別委員会に要する経費は、その都度議会の承認を得るものとする。
- 4 本特別委員会は、議会の閉会中も審査を行うことができるものとし、議会が審査終了を議決するまで継続する。

以上、決議する。

苫 小 牧 市 議 会

イスラエルとハマスの即時停戦を求める決議

２０２３年１０月に始まったイスラエルとハマスの戦闘は、一時休戦はあったものの双方で幼い子供たちや民間人を含め多くの犠牲者を出すものとなっております。

また、戦闘は開始から２か月が経過し、ガザ側の死者は１８，０００人を超えたとの発表がありました。

一時休戦以降、戦闘は激化しておりさらなる被害の拡大が懸念されます。

これ以上の子供たちを含む犠牲者を出すことは許されません。

本市は、２００２年に平和を愛する全ての国の人々とともに恒久平和の実現に努めることを決意し、苫小牧市非核平和都市条例を制定しております。

よって、本市議会は、イスラエル、ハマスの双方に対し、国連憲章と国際法に基づき即時停戦することを強く要望します。

以上、決議する。

苫 小 牧 市 議 会

6 そ の 他 資 料

(1) 行政視察来訪状況

年月	来 訪 団 体	件数計	人数計
7	呉市 9 人 新座市 11 人 さいたま市 5 人 下野市 9 人 川口市 15 人 岸和田市 5 人 津市 9 人 八王子市 11 人 南あわじ市 9 人 大分市 4 人 足立区 4 人 かすみがうら市 16 人 墨田区 4 人	13	111
8	相馬市 8 人 岡崎市 3 人 越谷市 10 人 浜松市 2 人 神奈川県 14 人 東予地区 9 人 静岡市 10 人	7	56
10	春日井市 4 人 羽村市 4 人 豊田市 6 人 石井町 8 人 小松市 9 人 東海市 9 人	6	40
11	西宮市 7 人 石巻市 3 人 福岡市 4 人 新居浜市 9 人 美瑛町 11 人	5	34
1	今治市 4 人	1	4
2	八代市 11 人	1	11
3	愛知県 5 人	1	5
合計		34	261

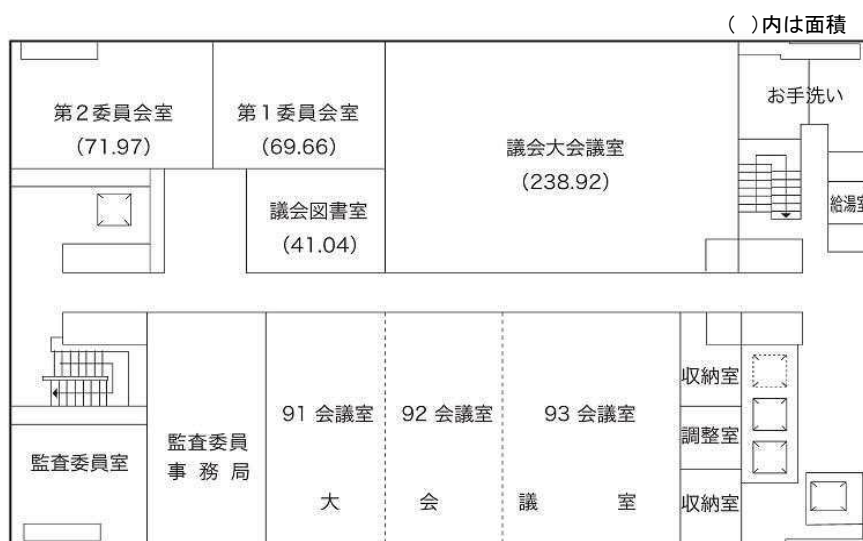
《主な調査事項》

都市再生コンセプトプラン、ゼロカーボンの取組、福祉トイレカー（とまレット）、
議会改革の取組、自動運転バス実証事業、ウトナイ中学校の取組

(2) 議会関係諸室平面図

(9 F)

大会議室 1 室
委員会室 2 室
図書室 1 室



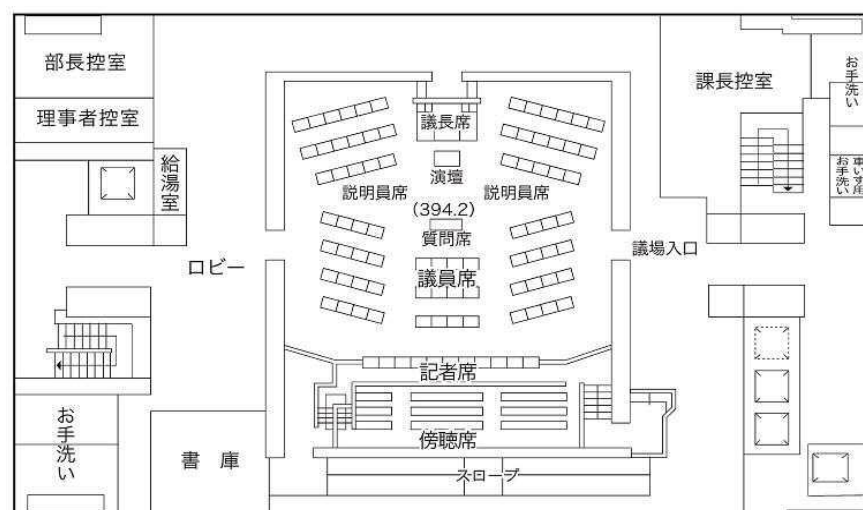
(10 F)

正副議長室 1 室
正副議長応接室 1 室
委員会室 1 室
議員控室 7 室
談話室 3 室
議会事務局長室 1 室
議会事務局 1 室
コピー室・書庫 1 室



(11 F)

議場 1 室
議 席 44 席
説明員席 28 席
傍聴席 57 席
車椅子 3 席
控室 3 室



(12 F)

録音調整室 1 室

7 事務局

(1) 機 構 (R6.3.31現在)

定数 12人 現員数 12人



(2) 事 務 分 掌

- ・本会議、委員会に関すること。
- ・請願、陳情の取扱いに関すること。
- ・議案、決議案、意見書案の取扱いに関すること。
- ・会議録に関すること。
- ・議員の身分、処遇に関すること。
- ・議会の傍聴に関すること。
- ・各種資料収集と調査に関すること。
- ・議会ホームページ、広報に関すること。
- ・議会図書室に関すること。
- ・行政視察の対応に関すること。

(3) 議会中継等

1) 庁内テレビ放送

本会議、総合開発特別委員会、安全・安心及び市民文化ホールに関する特別委員会、予算・決算審査特別委員会及び議会改革検討会を1階市民ロビー（一部2階談話室）で生放送

※本会議は議事堂の課長控室で生放送

2) 議会映像システム

本会議場の映像をインターネットで生中継（平成15年9月18日から実施）

予算及び決算審査特別委員会の映像をインターネットで生中継（平成20年3月4日から実施）

議会改革検討会の映像をインターネットで生中継（平成23年7月1日から実施）

総合開発特別委員会、安全・安心及び市民文化ホールに関する特別委員会の映像をインターネットで生中継（令和5年12月14日から実施）

上記中継録画を議会閉会及び委員会終了後、インターネットで配信（5年間分）

3) 会議録検索システム

定例会、臨時会、予算・決算審査特別委員会の会議録を公開（平成15年10月1日から実施）

常任委員会、総合開発特別委員会、安全・安心及び市民文化ホールに関する特別委員会の会議録を公開（令和3年3月12日から実施）

4) 広 報

苫小牧市議会ホームページに、議決結果等を掲載

苫小牧市議会フェイスブックを開設（平成29年4月3日から運営開始）

苫小牧市議会定例記者会見を実施（令和元年6月定例会から開始）

5) そ の 他

本会議傍聴者にとまチョップポイントを付与（平成29年6月定例会から開始）

議場コンサートを実施（平成28年9月定例会から開始）

※令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためとまチョップポイントの付与及び議場コンサートの開催を中止

(4) 図 書 室

1) 蔵 書

蔵 書 数 (冊)		雑 誌	令和5年度
一般単行本	法 令 集		購入予算額
7 9 6	1 1 種類 3 4	4 種類	1 1 0 千円

※予算額には、例規等追録代、新聞代、雑誌代含まず。

とまこまい

議 会 年 報

令和5年度版

令 和 6 年 7 月 発 行

☆ 編集 苫小牧市議会事務局

(本書は再生紙を使用しております。)